京城日報
廿八日夕刊
定價 本紙一部金二錢五厘
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目

◎袁總統發病

袁總統は一昨二十六日より病氣の爲言語を發する能はずとの報來る(東京電報)

◎南京會議は解散

獨立各省の和議峻拒

南京來電に曰く獨立各省は和議を峻拒する旨の返電を南京に送れる爲め南京會議は解散せられ代表者は續々南京を去りつゝあり(上海特電)

◎四川各縣續々獨立

雲南軍自流井に侵入

重慶來電に曰く十八日雲南軍は自流井に侵入し富順、隆昌、江安の各縣皆獨立を宣言せり(漢口特電)

◎張作霖遭難と豪語

犯人は宗社黨員か—邦人の負傷—血肉粉亂して鮮血淋漓

既報の如く奉天上將軍張作霖は二十七日零時中村關東都督を奉天驛に迎へ歸途二箇所にて爆彈を投せられ支那兵士二名粉碎され日本人三名支那人數名負傷せり內日本小兒重傷を蒙れり爆彈は鋼鐵製の有力なるものにて地上に大穴を穿ち屋根を打拔き附近には血肉粉亂して鮮血淋漓慘狀目も當られず犯人二名捕縛されたり彼等は宗社黨員なるが如し中村都督は直に張を見舞たるに張は意氣軒昂一の作霖死すとも之に因りて百の作霖生ずべし死何ぞ恐れんやと豪語せり(奉天特電)

◎媾和とウ氏の態度

獨逸は絕好の機會なりと云ふもウイルソン氏は聞かざるべし

確實なる筋より出でたる報道に據れば獨逸は米國に對しウイルソン氏が交戰國間の仲裁に着手するには今日こそ絕好の機會なりとの旨を通告せりと云ふ然れど大統領は獨逸の希望に應ずるが如き事なかるべし猶華盛頓來電に曰く白耳義館を訪ひ大統領と時局に就きて談話を交へたる人々の言ふ所に據れば大統領の平和提議に對する態度は中立國は先づ以て交戰者同志が媾和條件に就き相互の了解を遂げたる後にあらざれば仲裁に著手するを得ずと云ふにあり(紐育電報)

◎墺軍ケイザを占領

維納來電に曰く戰鬪三日の後墺軍はケイザ(ロヅエレトの東南約十哩に在りて國境に接す)を占領せり此處よりヴイセンザ迄廿一哩に過ぎず(紐育電報)

◎醫務局長檢閲

本多海軍醫務局長は檢閲の爲め二十八日朝高麗丸にて釜山着十時三十分發列車にて鎭海に向へり(釜山特電)

◎交代兵歸還了

國境守備步兵隊羅南野砲兵聯隊の一部は二十八日松山丸にて內地へ向へり之にて交代兵の歸還終る(淸津特電)

◎加工事業進展

大正四年中加工の爲め免稅にて原料を輸入し製造の上之れを輸出したる物品の概況左の如し

材料の輸入

品目	數量	價額
綿編物	三二打	二九圓
綿鈎	五八〇斤	二七一圓
綿プレー	一、六二六碼	三四七圓
麻絲	一二、〇六二斤	一四、一五七圓
麻布	六七斤	一七九圓
麻手巾	九〇四打	三三五圓
尾錠	五九、五一〇個	一、〇九五圓
ツヶ	四〇八、〇〇〇個	三、三三四圓
[illegible]	一九、〇七二斤	三、六六〇圓
[illegible]	一、〇〇〇斤	二三七圓
[illegible]	七六斤	七八圓
[illegible]	一〇、七二七斤	二、三一九圓
牛皮	一五六、四五九斤	一〇二、二二六圓
[illegible]	三六四、七九四斤	六〇五、一二三圓
合計		七三三、三九〇圓

製品の輸移出

品目	數量	價額
パテンレース	三、七二四打	三、一四二圓
花皿敷	一、八三一打	五八五圓
麻布皿敷	五〇六打	六七圓
麻手巾	七九九打	三七四圓
刺繡皿敷	九二打	二八五圓
麻テーブル掛	五九打	一六四圓
麻布刺繡	五〇打	九七圓
綿編物	一六五打	九一圓
綿リンプ	六、〇〇〇個	二圓
長靴	一九二、〇八〇足	一六二、五五一圓
彈藥盒	一一、一〇〇組	三一〇、〇七〇圓
計		一、九二七、四二八圓

卽ち原料の輸入總額七十三萬三千三百九十圓に對する製品輸移出額合計百九十二萬七千四百二十八圓にして之れを大正三年中に比すれば輸入額に於て七十一萬一千五百五十七圓輸移出額に於て百八十七萬九百九十二圓の激增を告げ顯著なる進展の趨勢を示せり

◎昌德宮午餐會

李王殿下は既記の如く二十八日正午より寺內總督、山縣政務總監並に司法官會同の列席者一同を昌德宮に招待午餐を饗應せられたり

◎工業調査委員會

總督府は二十二日午後工業教育調査委員會の第一回を開會し同調査の一般方針に就て打合せ其々調査の部署を定め更に第二回の會合に於て其體的の調査方法を攻究することゝなりたるが其第二回の調査委員會は二十九日午後二時より總督府會議室に於て開會寺內總督以下各委員出席今後の調査進行上に就て協議すべしと

◎蒼坪郵便局多忙

遞信局にて十六日より開設せし城北蒼坪郵便局は同地が湖南鐵道工事の中心地なる爲め開設以來非常に多忙を極め爲替一日百五十口電信電話百八十口特種郵便百五十口行囊取扱高三百八十個の多きに及び地方新設局としては稀有の繁忙を告ぐる爲め最近二名を增員したりと

◎教員講習會閉會式 京城

高等普通學校附屬臨時教員養成所に於て開會中なる內地人教員講習會は來る三十日を以て閉會式を行ふにより宇佐美內務部長官、關屋學務局長、秋山視學官其他は二十七日午後より會場を視察したる上記念の撮影を爲したり

◎內地人牧師親睦會 京城

在住の內地人關係基督教牧師約八名は既報の如く二十九日午前十時頃より漢江對岸の志岐信太郎氏別莊に於て親睦會を開會すべしと

◎工展出品物

工業專門學校にては廿八日同校々舍にて展覽會を開きたるが出品點數は同日中に殆んど全部賣り盡せりと

◎工業傳習所休業

京城工業專門學校附屬工業傳習所は二十八日製作品展覽會開會のため廢休したるを以て二十九日は同校及び中央試驗所共休業すべしと

◎私立校學事一覽發行

總督府學務局に於て編纂印刷中なりし私立學校學事一覽は此程全部製本出來したり同印刷物の附錄たる私立學校關係外人の調査は頗る正確にして內外人共に好個の參考資料なり

◎仁川瓦斯發起人會

仁川瓦斯株式會社創立發起人會を廿六日午後八時より仁川ホテルに開催し奧田貞次郎氏其他出席し創立に關する諸般の協議をなしたるが同社株式は發起人側にて二千株を引受くる事となれる由にて來る二十九日附を以て奧田貞次郎氏發起人總代として許可申請書及び關係書類を其筋に提出する事とし同夜十時半散會せるが發起人は內地側にて三人仁川側にて十名なり

元山

▲軍人分會春季總會 二十四日午後七時より元山在鄉軍人分會は憲兵分隊內にて評議員會を開き協議の結果二十八日虎島松ケ濱に於て例年の如く春季總會を開催すべく當日は佐竹守備隊長杉本要塞司令官の講演あり引續き會員の運動會及び種々奇拔なる餘興あると ▲列車延著 二十四日午後四時四十五分元山驛に著すべき列車は途中逆川附近を通過の際突如機關車の輪破損するに至り更に機關車を取替へて發車したるを以て同列車は五時間餘延著せり幸に乘客其他に對しては何等の被害なかりしと ▲記念道路竣成 元山府御大典記念事業の一なる金比羅山より大神宮山に通ずる公園道路は豫て工事中なりしが愈々今回之れが竣工を見るに至れり

春川

▲在鄉軍人總會 在鄉軍人支部總會は二十四日正午より警察道場に於て擧行せられたるが來賓の主なるは李道長官始め各官衙高等官各學校長守備隊將校並に士官及び春川中の各憲兵分隊長其他會員を合せ百餘名にして支部長開會の辭を述べ勅諭勅語を奉讀し終つて藤谷支部長及び南井分會長訓示來賓李道長官は一場の講話を試み役員改選報告を了りて閉會當日は雨天に拘はらず一名の遲刻もなく殆んど全員の入員は官民を合せ九十五名なり ▲武術大會 江原道憲兵警察官武術大會は二十四日午後一時より警察道場に於て擧行せらる當日は道廳各高等官及び各方面隊長より賞品の寄贈ありて競技者は何れも龍攘虎搏の試合を以て午後四時終了藤谷警務部長一場の訓示を述べ盛況を極めたり ▲分會役員改選 分會役員改選の結果は左の如し 在鄉軍人川井興三郎、佐々木武夫、中出安太郎、鈴木文英、花田美氏當選せり

光州

▲光州公會堂建設 多年光州の懸案となれる光州公會堂は一時立消の姿なりしが近來に至り再燃し北門外に在る邑門を市民に於て拂下を受け之を東門に移轉し大修理を加へ公會堂たらしめんとの議出で目下有志間に協議中なれば多分纏まるべし ▲第二期市區改正 光州市街の第一期市區改正工事も本月末を以て終了するを以て更に第二期市區改正計畫中なるが來月末頃には全部の設計成る見込みなり ▲學校組合申請數 本道に於ける學校組合設立有資格地にして未だ設立無きもの多々あり目下之れが申請手續を爲しつゝあるが現在願書提出中のものは州安郡夢灘、同郡望雲巫、長興郡柳村外一箇所、寶城郡院村里の五箇所なりと ▲浦野警務部長巡檢 浦野全南警務部長は高橋警務部以下隨

平壤

▲春季總會と射擊會 平壤在鄉軍人分會にては二十八日陸軍射擊場に於て會員四百餘名射擊會を催し午後二時より黃金町事務所に於て春季總會を開き同四時終了後宴會を催す由なり ▲牛疫發生 五月初旬以來黃海道遂安郡內に牛の斃死するもの多く其病源を知る能はざりしが谷山駐在吉田技手の實地踏査にて初めて牛疫なる事判明し專ら防疫に力めつゝありしが五月二十三日瑞興郡內に牛疫發生し黃州畜産組合瀧川獸醫急遽出張防疫中なりと

大邱

▲大邱組合戶數增加 最近の調査にかゝる大邱學校組合戶數增加率を見るに大正四年四月一日現在二千三百四十四戶なりしが本年一月一日現在にて二千五百三十四戶更に四月一日現在二千五百九十六戶に增加し昨年四月よりは百六十二戶本年一月よりは六十二戶の增加にして尙ほ兵營設置發表後續々增加の現象なり ▲高橋道書記歸廳 高橋慶北道會計係主任は永川、慶州地方へ出張中なりしが廿八日歸廳 ▲諏訪典獄上京 大邱監獄典獄諏訪太郎氏は典獄會議の爲め二十六日より八日間の豫定にて上京せり ▲助産婦看護婦會 大邱慈惠醫院にては二十九日午後七時より同院內に於て助産婦看護婦會を開き米本教師の精神講話松本醫院長賀來醫官其他學術上の講演ある由 ▲今村事務官來邱 今村總督府事務官は統計事務視察の爲め廿五日來邱廿六、七日迄在邱の豫定なり ▲善山金融組合理事更迭 慶北善山金融組合理事八田貢氏は廿四日附依願免官となり後任に佐々競氏任命 ▲矢島試補歸廳 矢島慶北道試補は九日高靈郡廿一日迎日地方へ出張次で高麗地方へ出張中の處廿五日歸廳

大田

▲果樹害蟲 當地に於ける果樹栽培數は非常の多數に上り年々の産額も隨つて多額に達し居れり然るに昨三年各園の苹果に一種不可思議の現象を生じ是れが爲め七八割の被害ありて如何とも手の附け樣なく其原因を發見するに一同苦しみ居れるが本年も既に結實を見たるを以て或は被害を蒙るにあらずやと憂慮しつゝあり是れに關し白石農園主の談を聞くに苹果の結實七八分乃至一寸位となりたる時一箇所に一つの黑點を生じ五六日にして落下するものにて其の原因が樹其物の病氣なるか或は害蟲の傳播なるか何れ共判し難く爲めに是れが豫防をなさんも方法なく被害をなすが儘に放任し置きたるが今年も或は被害を見るやと恐れざるを以て郡より道に請求し道は勸業模範場に依賴し病理研究に熱心なる中田技手の出張を乞ひたれば或は實地を見たる上にて豫防方法の發見を見るべしと期待し居れり元來の被害發生の時期は今頃より六月十日頃までなれば其以前に豫防すべく昨年は普通のボルドー液を使用したるも今年は濃厚なるものを使用せしに効果ありし樣子なりしに廿五日夜の雨にて發生を見たりと云々、去つて大田館に中田技手を訪ひ病原の事を聞くに、一應見たるのみにては斷定し難きを以て、標本を攜へ歸場の後篤と研究の上ならでは發表し難しと云へり

釜山

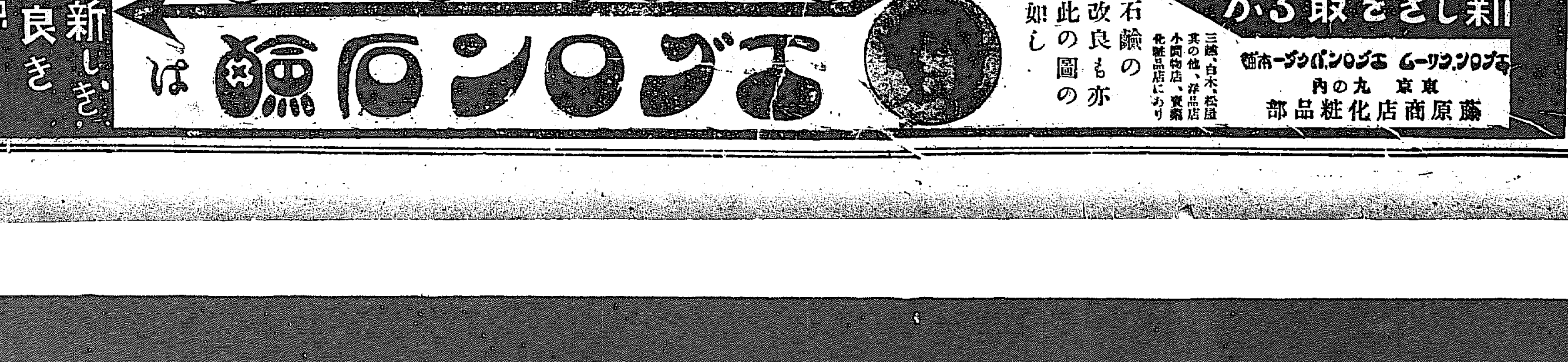
▲朝鮮郵船積載力 朝鮮郵船釜山支店より各地に就航する荷物積載力は一箇月二萬九千〇四十噸にして關門行は京、全羅、咸鏡、黃海、平壤の五隻にて總噸數六千七百噸而して此の航路船に長崎航路を加算したる七千五百噸は北鮮に就航する船腹にして同一船の航路は釜山を中心として南鮮航路は航程を二分したるものなり南鮮航路は統營、巨濟、濟州の三隻にして總噸數五千九百噸濟州島は一千四百四十噸の三浦丸之に就き浦項は江陵、襄陽の二隻總噸數六千噸なり又鬱陵島は八百噸の盛德丸を充て長崎は七百噸の忠淸丸を充て居れるが何れも出船の荷多く歸航は八分の積載荷物に過ぎずして輸出は依然として輸入の上にありと ▲府郡判任官會議 慶南道內二府十九郡郡守會議を晉州道廳會議室に於て廿四日より三日間に亘り開會せるが廿六日午後四時閉會なし同日各郡守府尹は一泊の上廿八日各府郡に歸任 ▲若松府尹歸任 釜山府尹若松兎三郎氏は二十四日より晉州の道廳に於ける府尹郡守會議に列席中なりしが二十七日三千浦より朝郵汽船により午後二時歸任せり ▲製陶工場 陶質地調査 釜山鎭に於て製陶工場建設の件は釜山方面の世上話題なりしが今回松風陶器會社長兼金澤日本硬質陶器株式會社長なる松風嘉定氏は廿五日來釜大池旅館に投宿し小野支會主と共に工場設置の場所檢分實施調査せるが何れ近き將來に現實すべしと ▲鑛産開館協會 廿六日午後一時より釜山商業會議所樓上に於て同所議員一同會合鑛産館開館式に關する諸件其他商工俱樂部等の件につき協議をなせり ▲龜浦紙料增設 龜浦に於ける紙料製造所は大々的に屢々報道を重ねたる鈴木商會所有の希望を以て擴張され紙料及び製紙事業を開始する等なるが最早設計圖終了したるを以て其筋の認可を經たる上一日も早く增設工事に着手すべしと ▲佐々木道長官 慶尙南道長官佐々木藤太郎氏は六月四日金海水利工事竣工式を擧行するに當り當日列席の爲め同地に赴き翌五日來釜大池旅館に滯在なし六日より水産組合巡邏船に乘船し道內濟山及び各沿岸巨濟島方面の各漁場を視察する筈也 ▲釜日の三千號記念 廿七、八日の兩日に亘りて釜山日報社にては三千號記念讀者優待大會を中央劇場に開く、盛況を極むる筈なり

天安

▲天安學校の海軍記念 天安公立尋常高等小學校にては海軍記念日たる二十七日午前九時より海軍戰勝記念を祝し古川校長の海軍記念日主旨を生徒に聞せ在鄉軍人滿洲軍一等兵曹猪熊常八氏の其當時の戰爭實況を圖解講話爲したるが各生徒は滿腔の喜びを表し謹聽せり後ち茶菓の饗應あり正十二時散會せり ▲教育研究會 天安公立普通學校に於て二十八日の日曜日午前十時より郡內公私立の各學校長及び教員會合し教育方の研究を開催せりと ▲天安郡の統計 天安郡廳には土地臺帳實施以來大正四年度の統計を擧ぐれば土地臺帳謄本交付數千三百三十四件地番數五千九百八十一手數料二百九十九圓五錢土地臺帳閲覽六百四十一件手數料八十二圓六十錢地籍圖閲覽百七十件手數料十七圓七十錢なりと然して右の如く多數の謄本を交付せしも同郡內總筆數七萬三千三百五十四筆に對すれば僅かに八歩に過ぎざる由 ▲天安郡面長會議 天安郡廳には二十五日より各面長を召集し苗代に於ける稗苗の拔取其他二十事項の指示及び副業組織の件桑苗の植栽に關する件模範農里の獎勵等の事項を協議の爲め面長會議を開き居れり

人事消息

▲氏野總太郎氏(海州地方法院檢事正) 二十八日午前出發歸任
▲高橋大佐(總督府附武官) 二十八日午前仁川へ
▲萩原中尉(京城憲兵隊副官) 同上
▲向井旅氏(平壤覆審法院檢事長) 二十八日午前入京天眞樓へ
▲宇川正義氏(鎭南監獄典獄) 二十七日夜入京不知火旅館へ
▲鷲尾直次氏(陸軍步兵少佐) 二十七日夜入京円城館へ
▲本田幸介氏(水原模範場長) 二十七日夜入京
▲キクンコー氏(佛國陸軍武官) 二十七日東京へ 二十八日歸任せり
▲瑞海軍少佐(佛國大使館附) 入京中の處二十七日午後七時五十分發列車にて東京へ
▲中村陸軍少佐(伊太利大使館附) 同上



平壤名所＝練光亭

●平壤名所 夏木立の間に點在する丹碧麗しき古建築物と

―昔を語る古戰場―

初夏の平壤！美しい哉、其の名、若葉戰ぎの薫ずる、今日此の頃、限りなく吾等の心を誘ふて、憧れ止み難き程の優しく強き魅力を持つて居る質に彼の女が持てる永久にうら若き自然の姿と、夏樹立の間に點在する丹碧麗はしき古建築物と、昔を語る古戰塲と、此れに伴ふ勇士美女等の

▽ロマンス や美人郡の名が存しめぬ婦女や、風韻雅趣に富む山と水との間に〱には數限りなき神話や傳說が皆初夏の若葉に甦つて我等を招いて居るではあるまいか。平壤は日本の京都である、古來柳都、水京、麗都、美姬京などの名を負ふて居る、平壤は風景の都である、詩歌の京である、美人の產地である、大なる公園地である、朝鮮に居る者は金剛山と共に一度は見て置かなければならぬ名所である我社主催の遊覽團は來る日曜日を卜して此の山紫水明の地に遊ばんとして居る恰も此の日は陰曆端午の節句に相當し平壤の山河は時ならぬ緋、紫、紅、黃の花が滿開した如うに裝凝らした若い女が群れ遊ぶ日である優雅なる平壤調の絃歌が山野江上に充ち亙る日である、此の日の故事は後に詳述し今簡單に道案內めきたる名所舊蹟を擧ぐれば先づ平壤驛を出ずれば

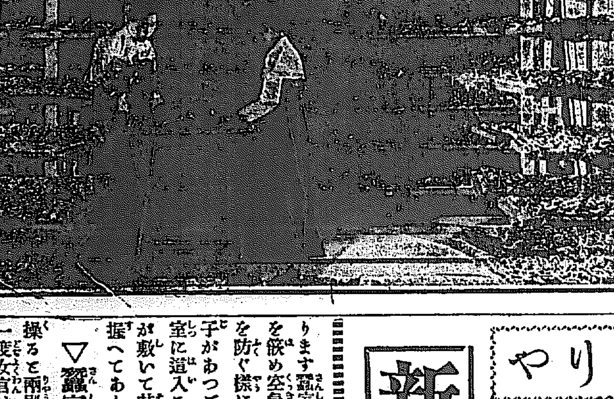
▽麗朝宮殿 の跡は左方に在り大同江畔の古堤の柳並木斐の如く、驛前に箕子の井戶あり昔蒸して水渴れたり、此茲に高大なる京義線建設記念碑あり驛の前より自動車腕車等あり珍らしき手押軌道車あり一度試乘するも面白かろう、少し進めば舊宮殿あり三十五六年頃露國が平壤奠都を企てゝ築造したるもの極めて壯大である今は平安南道慈惠醫院に用ひられて居る其の前門に近く覆審法院あり相對して高等女學校あり

江岸道路に出ずれば對岸は日淸の役に大島中央旅團が苦戰したる船橋里の陣地な渡船あり森の中は小公園の如く當時の記念碑あり此の邊より彈片古及劍の折れたるもの等を見出す事がある、稅關江岸より北に向へば碧樹水に倒映する道路淸く此の邊より漸く形勝の地に入る大同門は平壤城の東南に當り日淸役の中央軍及び文祿役の小西軍は此の間より攻め入つたので宏大なる樓門である門に隣接したる

▽練光亭は 平壤數ある古建築物中最も雅趣に富むものである亭の下夏草蓬叢たる中に小祠あり壯美祠と云ふ小西行長の縱首を覗ひたる美妓を祀ると傳へらる道は老樹の間に在り古昔鑄錢場の跡に東亞煙草分工場がある、隣つて文廟關羽廟等が右方の江中に朝天石あり高麗英明王の昇天したる處と傳ふ道は漸く奇勝淸流壁下に入る

▽古朝鮮の 大宮が極めたる遺跡記念は美姬の名と共に岩に刻して無數に在り江中に綾羅島近く島は楊柳の緣を以て蔽はる平壤水道水源池此の內に在り山上より島に向つて鐵橋を架して往復せしむ、淸流壁の盡くる處に櫻錦門あり之れより牡丹臺に入る櫻錦門內には古き宏大なる石磴あり頽廢せんとする舞樂殿あり平壤の丹碧閣かに杉戶に殘る鎮岳殿に隣接して麒麟窟あり石を疊みだる立派の坑道なり今は崩壊したる處ありて通せず城外に通ずる由此の窟室には奇なる古傳說がある、浮碧樓は此の上に在り牡丹臺下の絶勝である、長城一面洋々の水は此の樓下江上の趣きなり大野東頭點々の山は對岸平野の眺望なり樓は大理石を礎とし敷石としたる贅澤なるものである、宏壯なる樓は此の頃修築漸く成つて丹朱の柱梁麗しく

▽其北方に 珍しく大なる楓の老樹の化石二つあり此邊小化石頗る多く散在す樓の西方に盛子の著書朝鮮にて知られたるお牧の茶屋あり頗る淸洒愛すべき建物である、お牧の茶屋より西に向つて上れば永明寺あり古昔は叡山と同じく武裝したる山僧此の近邊一帶を領したる際は頗る廣大なる寺なりしと乙密臺下の藤と松と櫟の深森の間を上れば長房臺の名所あり質に臺中の景賞して佪かず進んで牡丹臺に登る



李王妃の蠶室

□李王妃の御養蠶

□眠しき香背閣の御蠶室□

□桑は秘苑內の桑園から□

昌德宮李王妃殿下御飼養の蠶は秘苑の池の渚なる丹壁藹棟の一宮殿香背閣の內にいと健やかに成長して居ります去る二十五日

▽三眠より 起きて昨日今日頃は朝に晩に眼に見ゆる程大きく成つて行く、李王殿下は妃殿下と御一緒に折々此の蠶室に御出在しに成ります。蠶の種類は總督府の獎勵種である又昔であります種は昨年此の蠶室で飼つた繭から取つたもので妃殿下が昨年の共進會の時に御自分が御選びに成つて買上げられた同種類の又昔でありります、此の精選された蠶種は橫範農塲の岩田技師や同場の蠶業傳習所卒業の三名の

▽蠶婦らの いと叮嚀な世話を受け此の月の初めに生れました桑は矢張り秘苑の內に桑園が有つてそこに繁茂して居る為桑を摘んで來ては喰べさせて居ります今の處蠶は五十枚の蠶架に分けられて居りますが上簇する時には百四十枚位に成るさうです生れた時に蠶の目方は三匁ありましたが繭は一石以上とれる豫定ださうです繭になれば李王兩殿下から

▽總督以下 な御招待になつて盛んなる收繭式を擧げた上に蠶室一部に在る製絲場で絲にしますそれから、美術製作所で紬とか綾とか緞子とか云ふ樣な布になります蠶室に成つて居る香背樓は由合樓の南隣に在り楓樹松櫟などの深林の少し開けたる處で丹碧美しく塗つた古建築の內部を蠶室に改造されたものでありますが

▽濕乾温度 の關係も極めて都合よく去る明治四十二年始めて蠶を飼ひ始より年々豫想外の好成績を收めて居ります蠶室は前後に細かき鐵網の戶を篏め空氣の流通を圖ると共に蠅虫を防ぐ樣にしてあります其の中に障子があつて溫度に由り開閉します蠶室に這入ると中央の部室には花毛氈が敷いて其の中央に王殿下の倚子が据へてあり其の前に

▽蠶室日誌 が備へてある此の日誌を操ると兩殿下が三回兒玉局長夫人が一度女官は交る〱每日蠶兒を見に來る事などが誌してあります蠶室は左右の兩方に分れて居ります恰度眠から起きた蠶が新らしい柔らかな桑を喰べて居りました

最も有益にして頗る愉快なる斯る遊覽團ありや

古戰場の平壤へ

△六月三日（土曜日）午後十一時半 臨時列車にて南大門驛發 龍山十一時四十分仁川よりの方は午後九時三十五分仁川驛發龍山乘替

△六月四日（日曜日）午前六時平壤驛著歸路は同一切符を以て六日の午後一時三十九分平壤驛發列車迄何時の京城行列車にて歸らるゝも御勝手です、ですから四日、五日同一切符で平壤で遊ばれます

主催 京城日報社 每日申報社

△往復汽車賃 京城龍山よりは三圓五十錢仁川よりは四圓 普通なれば京城、龍山より六圓六十錢仁川よりは七圓四十錢ですから鳥渡半額です

△遊覽團は成べく會員諸君の御自由を思ひ會費は往復汽車賃のみでお辨當も旅舘も諸君の御自辨ですから諸君の行動は御自由です

△平壤に於て會員諸君を歡迎する爲破天荒の餘興の大計畫があります

新綠の柳都へ

●驟雨沛然 天候は直ぐに快復する

京城地方では廿八日の日曜の午前中快晴であつたが正午頃から每日曜の例に洩れず一天搔き曇つて重苦しい黯雲が大地低く漂ひ强い風の絶間々々に驟雨沛然として地の埃を鎮めた右に就き京城測候所の觀測に依れば二十八日午前六時頃支那渤海灣附近に七百四十五粍米突といふ濃厚な低氣壓が現はれ之れが漸次東進して朝鮮半島を掠めて來た爲めに平安南北咸鏡南北並に黃海道の各地方は警戒區域であつた、中部地方でも幾分其餘波を受け次いで江原道の一帶の東海岸に當つて小低氣壓が出現し中部地方は兩低氣壓に揉まれ茲に驟雨的の現象を呈するに至つたのである、併かし此れは一時的の現象であるから長びく氣遣ひはあるまい（京城測候所員談）

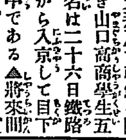
●西の海大錦一行の滿鮮巡業 六月中旬東京發

東京大相撲は愈々二十八日を以て千秋樂となるべきがそれより橫濱その他東京附近の花角力を興行したるのちそれ〲地方巡業の途に就くべく滿鮮巡業組は西の海、大錦一行と決定し來六月中旬頃東京出發の豫定にて取締出羽の海は一行と共に來鮮すべし然して釜山、大邱その他二三の地を巡業する筈なれば京城乘込みは六月下旬或は七月上旬となるべし

新柄ゆかた地陳列會 六月一日より 京城三越呉服店

●置屋を騙る

京城鳳翼洞金東詰（二三）は昨年五月頃妻の妹なる安姓女が美貌なるを以て妓生營業をなさんと同人に其の周旋方を依賴したるを奇貨とし黃金町三丁目の妓生置屋金正奎方に住み込ませたるも安姓女は同家を嫌ひて逃げ出したるより金東詰は同女の衣服料其他の名義にて金正奎より金五十圓を騙取したるため懲役六箇月の處分となりたり



多年支那及び朝鮮に關係深き山口高商學生五十七名は二十六日鐵路滿洲から入京して目下新綠の京城を見物中である▲將來間島から支那の吉林に通ずべきわが咸北の淸會線鐵道はこのほど淸津と會興間十五哩の試乘式を行つた▲今夏暑中休暇を利用して東京各學校の學生生徒に金剛山の探勝を勸誘したし……とは朝鮮鐵道局の東京案內所坂本主任の談▲黑色染料の原料たる義州附近の楓葉は年額三萬二千萬貫價格二千四百三十圓に上つて居る▲日曜の廿八日は午後からまた雨となつた日曜に雨は附きものか

●嬰兒殺しの判決 慶北醴泉……は……も世間體を恥ぢ意を決し其の場に於て嬰兒を壓殺し古袴に包み附近の畑に……潜し居れるが此の事官憲の探知する所となり去る十……

……りし際俄然爆破し之れが爲め左手三……

●連絡船上陸客 廿七日午前……三等（二百〇六名）……廿七日夕釜山入港壹岐丸一二三等客

……四四粍▲進行方向東▲記事 西の風强し▲警戒區域 平安北道平安南……

天 く も ▲晴後曇り 五月廿九日

大活躍の六月號 定價十八錢郵稅一錢半 前金（八冊一圓四十五錢 十二冊二圓十二錢）郵稅共 東京本町博文館

冒險世界

■日本の上空は極めて危險なり…長岡中將
▽幽靈旅舘（上海奇談）…川瀨匡外
■名犬物語…阿武天風
▽黃金の壺（探險奇譚）…小杉宵村
■怪奇小說死神の手に囚はれたる獨逸皇帝…白髮道人
▽十年一昔書生さん物語…布川靜淵
▽ラバレット伯牢獄逃走…千頭淸臣
□探偵小說零下百十九度…阿武天風
▽高津戶城の悲劇…竹貫佳水
▽船長パンフ井ルの冒險…南海漁夫

鉛鑛買入開始

▲從來金、銀、銅、亞鉛、重石鑛等買鑛致居候處本月ヨリ更ニ鉛鑛買入開始仕候ニ付鑛量ノ多少ニ不拘續々御送鑛ノ程希望仕候

▲前記鉛鑛中含有ノ金銀ニ對シテハ相當ノ代金御支拂可申候

▲目下選鑛場建設中ニ付之カ竣工次第鉛ノ賣鑛モ御引受可申候

大正五年五月

久原鑛業株式會社 鎮南浦製錬所

銷夏の友 ◎キリン印◎

▼サイダー ▼シトロン

▲召上て涼味を招き ▼飲んで心氣輕快

製造元 京城櫻井町（大正舘前） 日の出商會 電話二三四八番

氷 朝鮮製氷社京城販賣部 山下磯吉

三和高麗燒は宮內省御用の光榮に浴したり

香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々

三和高麗燒 朝鮮特產海老の精

海老の精は風味佳良。滋養分豊富にして貯藏久しきに耐へ御土產として絕好の珍品に御座候

三和高麗窯元 海老の精發賣元 朝鮮鎮南浦 富田商會

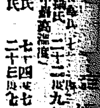
特約店 京城 龜屋 同 津村商會 仁川 流川商店 平壤 龜屋支店 大邱 龜屋支店 淸津 靑木商店 江景 岡商店

[illegible]殺女(三〇)と情を通じ居たるが其の結果同年四月頃姙娠し本年二月二日夜自宅裏軒下にて女兒を分娩したる[illegible]を恐れて[illegible]を殺害し其の死體を[illegible]掘り出させこれを同郡書門洞内を流るゝ[illegible]川江に投入し何喰はぬ顔にて[illegible]

●爆[illegible] [illegible]街五丁目劉萬會(三九)[illegible]一時頃自宅にて不穩信號を[illegible]呼び居一同に集合し[illegible]會を催したり [illegible]日組長一同南山[illegible]

鳥久平、牧村ちか、同[illegible]、同芳平、同軍[illegible]、岡本知子、同[illegible]、大[illegible]、[illegible]、田中[illegible]、内田[illegible]

●暴風警報(五月二十八日午前九時發)
▲時文 風强かる可し ▲低氣壓の位置 [illegible] 四四耗 ▲進行方向 東 ▲記事 西風强し ▲警戒區域 咸鏡北道咸鏡南道の沿岸及び内陸



潮 [illegible]

●轎 朝鮮趣味の古風な乗物

▽都にすたれて▽田舎にはやる

□朝鮮の婦人はよく轎に乗つて旅行します、轎は朝鮮で轎軍を申しながら古風な趣味深き乗ものです

□ゴルドン夫人は京城に來られる度び毎にいつも轎を用ゐられますがすべて古き朝鮮趣味を味はひたい人には轎は最も興趣有ものと思はれます

□何分轎は安座したまゝの人を乗せて人の力で運ばうといふのですから自動車あり馬車あり俥ある今日の乗ものとしては最も贅澤と云はねばなりません

□普通内地の婦人方が乗りますと始終轎夫の歩行に和してゆれますので聊か車ひ心地になるともあります

□今でも田舎に行きますと到る處で用ゐられて居ますが併しだん／＼俥や馬車に壓されて行くやうな傾向が見ゑます

□其の證據には以前京城にあつた轎製造人は町の方々にありましたが只今では僅に南大門通りに二三軒殘つて居るに過ぎません(つゞく)

…仲よくまゝごと致しませう…

●氣分が悪くなつて記憶力が減る

□十六七の娘さん達□ □簡單で自然な療法□

□毎年初夏の青葉時分にはよく婦人方に頭痛、眩暈、嘔吐などを催ふす人が多く何となく氣分が惡しくなつて記憶力が減退するといふやうな事がありがちのものです

□殊に十六七歳の娘さん達には仕事に倦み易く疲れ易くなる傾向がありますからよく衛生に注意しなければなりませぬ

□この原因はつまり血液の變調によるものでありますがこれを免れるにはふだんから身體を健康に保つより他はありませぬ

□殊に平素便通があるや否やはよく注意して居なければなりませぬが若し便通の無い時分にはあまり下剤や灌腸などの不自然な方法によらず簡單な自然な天然な療法をとるがよろしい

□それは夜間就寝前に一度沸かしたお湯をコップ一杯位枕元に用意し床の裡では寝入るまで腹部を靜かに擦てまはすのです

□斯くすると腸の蠕動を援けますから翌朝眼がさめるや否や件のお湯を飲み下し後ち通じがあつても無くても便所に行く習慣をつけるとが肝要です

□猶ほ食後危險無き限り新鮮な果實または野菜類をとるのも利き目があります姙娠中の便秘は殊に注意しなければなりませぬ(婦人病院長工藤ドクトル談)

●忙がしい郵便局

昨今は一回に六七千通

京城郵便局の最も忙がしいのは午前八時半すぎと午後の九時すぎ内地からの郵便物が届いた時です、局では三十餘人の住所人がこれを各持ち場々々に分配して配達しますが、何分昨今一回に六七千通の郵便物が參りますので殊に住所の不完全なものは非常に手數がかゝり且つ配達の時間が遅延します、それで平素信書の差出しには先方の住所氏名は素より自分の方のも正確に記しておくことが大切です(京城郵便局長談)

●愛婦のお名殘見送

接待所は一先づ撤廢

愛國婦人會朝鮮本部にては去る廿六日内地に還る歩兵第六十九聯隊の第一大隊を見送りました此の日龍山停車場には萩野、三木、稲垣、佐々木、金子、山田の各夫人が熱誠なる斡旋をなさいましたが今回内地に歸る兵士としてはこれが最後の部隊でありましたのでいよ／＼お名殘見送でありました、これで去る四月十八日以來龍山停車場に設けられた接迎接待所は一先づ撤廢することゝなりました

■新工業國に出來る新工場法

□□日本の男女職工の待遇が變る□□

□これはあまり朝鮮には關係の無いことですが日本内地ではいよ／＼來る六月一日から工場法が法律となつて實施される事となりさうです

□新らしい工場法は纖弱い婦人や子供の勞働者を保護する爲めに設けられましたもので外國には之れまで行はれて居ましたが日本には這回が始めてです

□新らしい工場法によれば常時十五人以上の職工を使ふ工場には一々この法を適用されますので現今日本にある一萬二千二百七十の工場に働らきつゝある約九十六萬七千人の勞働者にとつては非常な福音と申さねばなりませぬ

□日本は今新らしい工業の勃興につれて工場の數は益々増加し從つて工場に働らく婦人や、子供の數はいよ／＼増加して行く傾向がありますから此の工場法の實施は極めてよいとであると思ひます

□工場法の規定は先づ女工や幼年工の保護、職工の扶助、工場設備の改善等が主なるものとなつて居ますが殊に纖弱い女工や幼年工が無理な働らきをして體力や健康を害し且つ不具者となるとのないやうそれ等の保護が主要となつて居ます

□例へば十五才未滿の幼年工及び女工には運轉中の機械の取扱及び危險な機械の油さし掃除等をさせぬことまた砒素とか水銀などのやうな有害な塵やガスのある處で仕事をさせぬとしてあります

□また十歳以上の幼年工でこれまで使つて居たものまたは輕い仕事をして居るものを除く外は十二歳未滿の者を使用するとが能きぬとになりました

□次ぎに一日十二時間以上就業させぬとまた夜業や休日についてもいろ／＼な規則が出來ました

●絹物と長袖は禁物

高女から家庭への希望

京城高等女學校では從來から絹物と長袖を用ひられぬことゝなつて居ますが數多い生徒の中には此禁を犯して絹の著物を著て居たり新流の袴をさして居つたり又はべら／＼と長い袖の著物を著て居る生徒がありますが殊に此の頃はボツ／＼袖を持つて來たがるので學校では不審に生徒の持物檢査を行ふさうです、この様な都合學校の注意を受くるまでもなく家庭で相當注意して頂きたいものだといふ事です

婦人界消息

▲深水清氏夫人(朝鮮郵船會社專務) 二三日まへ可愛らしい坊ちやんが生れました

●改つた始業時間 先日京城府内の各官公立學校長の集會の結果學校の始業時間は少々變更することとなりました、即ち五月一日から七月卅一日までは午前八時から八月一日から同卅一日までは午前七時卅分となりました

—△會いろ／＼▽—

○觀世流謡曲大會 京城觀世會にては來月四日午前九時より旭町本願寺に於いて謡曲大會を催ふすべくその番組は田村、通盛、櫻川、花筐、鞍馬、熊坂、小督、小町等の外囃子、連吟、仕舞等あり

●愛國婦人會修養會 [illegible]三十日午後二時から府内永樂町西本願寺にて修養會を催します

●中學校の活動寫眞 京城中學校にては廿七日夜朝鮮遞信局の企劃[illegible]の活動寫眞がありました

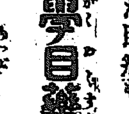
たいどころ その日／＼

回飛魚の照燒 飛魚を三枚に下し、酒に醤油と味淋とをまぜ合せし物につけ込み、暫くして出し強火な打ち火にかけ二三度その汁をかけて燒き、身の方を上にして皿に盛る、猶これに殘りの汁へ葛少量を加へ火にかけ、ねりてどろりとせし所を魚の上にはけにて塗る。

番茶のあと

廿七日工業傳習所の見物に行かれた寺内總督は各所の美しい陳列品を見られました上金工科の合金製指環や朝鮮かんざしを見られまして傍らの關長官を顧みながら「奥さんに一ついかゞ——」と申されました、關長官も「ありがたうございます」といつて喚ばれました、朝鮮婦人は何れもまたい銀製のかんざしをさします▲井上元山の寺洞宗寺院法秀寺の和尚にあひますと今年は京城から海水浴の人が澤山來られる、現に石塚衣官夫人もおいでになるとのおはなしでありました▲此のごろ長谷川町の通りでは國のやうな燕がフワ／＼フワ／＼と飛んで大變きれいに見えます

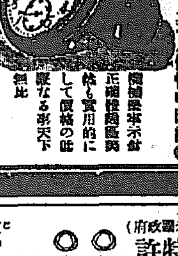
夏物大賣出し
■六月一日より同七日まで■(一圓五十錢毎に一袋進呈)
非常に奇抜なる
福袋進呈
■福袋在中品目録
□絽羽織地□珍柄帶地
□縮緬帶地□大和蚊帳
□金紗帶上地□東京浴衣
□純毛セル地
(空袋は一枚もありません)
■見切釣切品一山
(此分に限り福袋なし)
京城明治町
唐川呉服店 電話二六二番
●蚊帳全部取揃



Family Hotel.
本館は市の中央にあり土地高層、庭内廣く閑靜にして宿泊及び宴會には最も好適す
佛國式料理
宿泊 宴會
京城南大門通三丁目
ファミリーホテル
館主 ミセス、ボーエル
電話一二八番

埼玉縣人 榎本彌三郎 丗歳前後 丈高き方
右屆人中不都合有之行衛不明同人等現居所御承知の方は御通知に預り度候相應謝儀可仕此段以廣告御依頼候
東京淺草區駒形電停前 布施商會

タングステン
用手廻鳩鍋機及大マグネット中根式鑛山機械は始政五週年記念物産共進會に於て賞牌一等狀三を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得
京城南大門通五
中根商會
電話一〇四番
●新荷著アンクル式片側側中時計●



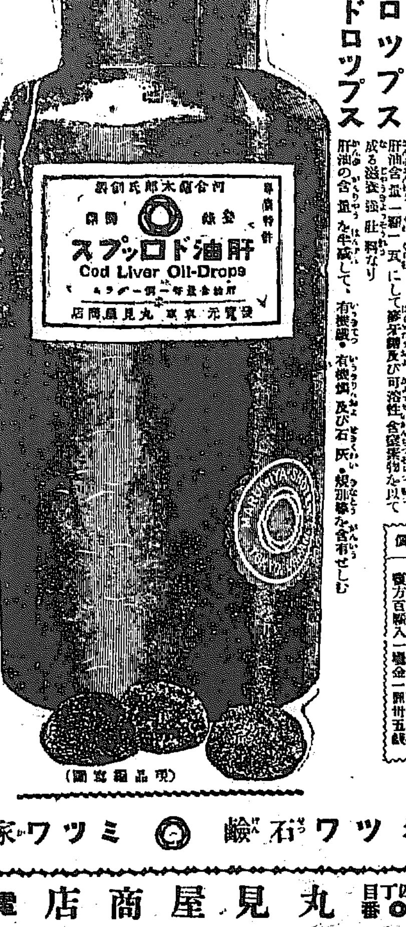
十九形	銀側	[illegible]
十三形	ニッケル側	[illegible]
十七形	同(兩蓋)	[illegible]
十八形	銀側	[illegible]
十九形	金鍍金	[illegible]
十六形	ニッケル側時計	[illegible]
二十形	クロニーム付	[illegible]
十二形	同	[illegible]
十二形	銀側(十年保險)	[illegible]
十九形	同	[illegible]
十八形	同	[illegible]
十六形	十八金	[illegible]
十九形	同	[illegible]

今回新着の商品にて小商會獨り之を販賣す何れも實用的にして價格の低廉なる事天下無比
店に無き所のものは代りて取寄せ急速御用命に應じ候
印度及び地方注文の御注文は代金引換小包郵便にて御送附申上候

京城永樂町一丁目(陳列館前)
内科 小兒科 村上病院 電話六一三番
院長 醫學士 村上龍藏
熊本醫院 副院長 醫學士 松下三雄

時計、蓄音器、ミシン、自轉車、洋酒、各國雑貨 直輸入商
イングレッシー商會
京城本町二丁目 電話九七二番

專賣特許(本邦及英米佛國政府)
▼甚しき臭味を忍びて肝油を飲食すべき時代は去れり▲
河合龜太郎氏創製
◎肝油ドロップス
○肝油ドロップス
○複方肝油ドロップス
肝油含量一顆一瓦にして豫牙謨及び可溶性含窒素物を以て成る滋養强壮料なり
肝油の含量を半減して、有機燐、有機鐵及び石灰、規那等を含有せしむ
滋養強壮料



(現品寫眞圖)

肝油が一般の虚弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として、内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を厭忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、麥牙糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき「肝油ドロップス」を創製す、本品は從來の肝油製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆ど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり

定價	
五十顆入	壹金七拾錢
百二十顆入	壹金一圓卅五錢
貳百五十顆入	壹金[illegible]

用法 肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用

五歳以下	一回一顆乃至二顆
十歳以下	一回二顆又は三顆
十五歳以下	一回三顆乃至四顆
大人	一回四顆乃至五顆

注 菓子の如く食すべし又は細片に碎き冷水或は微温湯にて嚥下するも妨げなし

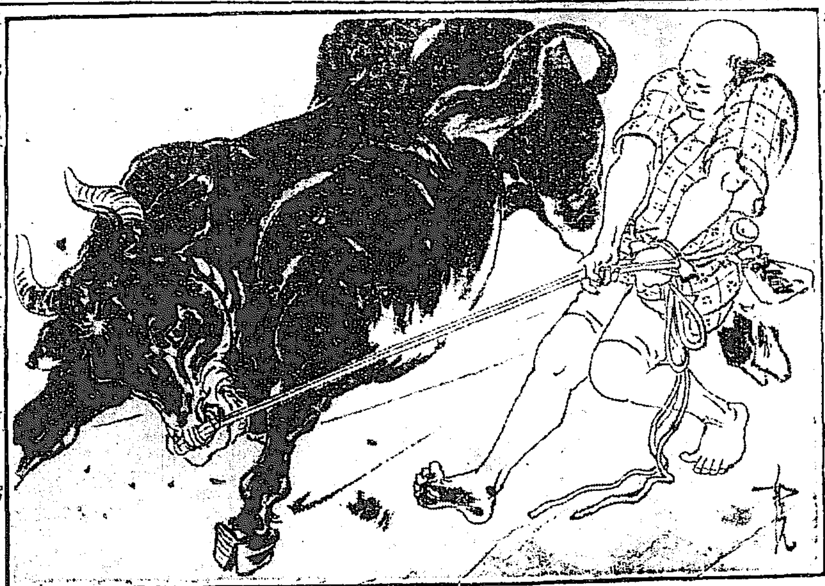
ミツワ石鹸 ◎ ミツワ家庭藥
東京市日本橋區橘町四丁目 丸見屋商店 電話長浪花特四四四五 八四九〇番 東京 振替 一〇一七番

軍隊とライオン齒磨！
齲齒があつては徴兵檢査に合格しません。齒が弱くては自然体も弱い。体が弱くては迚も國家の干城にはなれません。強い齒は、強い兵隊の一要素です。それでライオン齒磨で齒を磨くのは、強い軍隊を作る一原因に成るのです。日本軍隊で、ライオン齒磨ばかりを用ゐて居るのは實にこの理とライオン齒磨が齒の爲めに一番よい事とを認められたからでございます
ライオン齒磨 ライオン石鹸 本舗 小林富次郎
新築移轉地 東京 本所區外手町
(53—4)

宮本武藏

第五十二回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記



さて吉岡治太夫の名は急に世間に響いて門人となるもの數を知らず、清十郎は一番弟子で巾を利かして居ります、其内媒酌があつた泉州堺の紺屋利右衞門といふ人の妹で芳江といふ婦人を妻に貰ひ、夫婦の情交も睦まじく、男兒を一人設けまして名を又三郎と名付け手の中の玉と寵愛して居る、恰度又三郎が七歳に相成つた年の事で禁中に於て雞合といふ事がある、之れは往古からある儀式で雞を集めて蹴合をさせる面白いもの、藤原時代には盛んでありましたが朝廷の御勢衰ろに隨つて中ごろ絶へて居りました、然るに當時の京都所司代板倉伊賀守勝重が之を再興いたしました、其から年々三月三日に禁中に於て行はせらる、この板倉伊賀守勝重といふ人は名代の人物で關ケ原の後京都に初めて所司代を置れる時に家康公御眼識を以つて勝重に命ぜられました、慶長八年叙爵して伊賀守となる、其頃はまだ豐臣秀頼公大阪に在つて天下の中に二君ある形ち、國内の諸侯表面は徳川に從つて居るやうなもの、内心は如何なる企てをして居るか分らんといふ至極危險な時代であります、將軍の名代として一天萬乘の君を守護する所司代の骨折は一方でない、然るに板倉伊賀守勝重は少しも過失なく上は三公より下は百姓町人の訴訟に至るまで、理非明白に糺して裁決水の流るゝが如く、天下擧つて心服いたしました、この伊賀守の子息二人、長男は周防守重宗といつて是亦父に劣らぬ人物、元和六年父勝重に代つて京都所司代になり明暦元年七十一才にして卒するまで三十餘年間唯一つも過失といふ事がなかつたといふ位ゐの方であります、人呼んで板倉の炬燵といふ、何ういふ譯かといふと、これは火がない即ち非がないといふ洒落だ、其位ゐの人でございます、この人は二男を内膳正重昌といふ、この人は寛永十五年一月二日天草一揆追討のため軍勢を卒ひて出陣いたし遂に鐵砲に中つて討死を遂げた、兄弟とも徳川の功臣であります、この天草の戰ひに宮本武藏も細川の手に隨つて出陣いたし目覺しき働きをいたしましたが其は後に申上げる事にいたします、周防守重宗が在職中の逸話は澤山ございます、最初元和六年十二月廿八日板倉伊賀守勝重老年の故を以つて所司代御役御免の願ひを上げた、時に將軍秀忠公が仰せに　秀「今其方に代つて京都所司代を勤める者は何人であるか、其方の眼識を以つて申付けるやう」といふ御諚、此時に勝重が　勝「願はくは愚息重宗を以つて所司代仰付下されたく」と申上げた　秀「其方の悴重宗は未だ若年であるが首尾よく大役を勤めることが出來るかどうぢや　勝「恐れ乍ら悴重宗は密夫の首たりとも容易には斬らんと申した事がございます、其一言に依つて手前の後を繼いで大役を果たす事も充分出來るものと存じ居ります」秀忠公手を拍つて感じ　秀「予を見ること父に如かず、重宗は若年乍ら天晴のものぢや」と仰せられ直に京都所司代に任じ周防守を任官いたされました、時に年齡十八歳、若年過るから人がどうしても侮る「今度の所司代は十八ださうだ　○「そんな小僧上りの男に大役が勤まつて堪るものか、馬鹿々々しい」といつて悪くいふ、重宗之を聞いて　重「ハヽア俺が年若だから人が馬鹿にする、併し之は尤もだ、宜し一つ計略を持つて驚かしてやらう」と考へた初めて京都へ乘込む時に大津の宿へ差掛つた、下落觸れ制止の聲嚴かに乘込んで來ると向ふから牛を一疋引いて牛方がやつて來た、牛方はエイホー寄れツといふ制止聲を聞いたから驚いて往來の隅へ少さくなつてお辭儀をして居る、牛は何んだか分らないから突立つてキヨロ〳〵して居ると周防守の行列が通り懸つた、バツ〳〵といふ馬足の響きを聞くと牛が驚いたものと見へて一聲高く「ウー」と吼へた、重宗馬上にて之を聞くと大に怒り　重「畜生の分際として武士に向ひ無禮千萬、誰かある彼の牛を切れ」と高聲に呼はつた。

肌に輕く着心地よき夏物の
めいせん
おゝ野や
京城本町二
電話八九〇番

上野花柳病醫院
内科外科
南米倉町朝市場通仁濟病院跡
電話二九三四番
(入院隨時)

◉後藤デシンの效力　清潔防臭殺菌劑界に斷然一頭地を抽き多々あるデシンフエクトールに率先の名譽を荷へる醫澤銀賀府部貿易方劑後藤デシンの偉大なる效力を有することは夙に世人の記憶に新なる處なるが今や該品の聲價は海外に及び輸出の劇增せること一面内地に於ける石炭酸其他輸入藥品暴騰の際とて之れが代用劑として時節柄實行頗る盛んなりと

五月三十日九星
舊四月廿九日丁卯
本命六白乾開友引

▲六白● 縁の結る事有 新規見合南方は吉 [illegible]
▲七赤● 盛運の日 旅居旅行入學名弘金件求職 [illegible]
▲八白● [illegible]
▲九紫● とんちんかんの事有日 新事手控 [illegible]
▲一白● [illegible]
▲二黒● 買入高位の眾助を得て [illegible]
▲三碧● すらく [illegible]
▲四緑● おべこべに來る事有日 新事手控 [illegible]
▲五黄● [illegible]

最新高等かぜねつ良劑
キナピリン
本舖 大阪市 高橋盛大堂藥局

演藝案内

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七 (大活色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店)
八月二十六日より差替大寫眞 お伽劇埃及のアンチモニー 喜劇ルドルフの笑 ◉實寫 伊太利噴火山 有名なる冒險家ジヨンフアルマン氏決死の撮影に係るものにして伊太利各噴火山の狀況を詳細に撮影せるもの◎伊太利チネス社大傑作 ◉泰西大活劇ムンロの秘密 全三卷 ムンロの秘密……そも如何なる秘密の伏在せしぞ 内容は云はぬが花、そもムンロの秘密とは何ぞ 大活會社秘藏寫眞 ◉新劇南總里見八犬傳 全六卷 曲亭馬琴の大傑作として古今東西に其名を知らる [illegible] 出演俳優は東都に於ける名題俳優のみの大車輪の劇にして天活會社が最近苦心の撮影に係る秘藏の大フヰルム

壽座 本町 電話五七八
五月二十四日より 新派 夜光の玉 喜劇 忠臣藏御殿 本裁判 新喜劇 揚卷助六 茶屋場 午後六時開演 笑樂會

浪花館 明治町 電話二六〇番
○東京落語講談三遊派一行來る 十七日より毎日午後六時開演 ▲落語(三遊亭遊六) ▲落語(三遊亭遊三) ▲落語、手踊(三遊亭遊枝) ▲落語(三遊亭圓花) ▲落語、音曲(三遊亭遊樂) ▲落語、笑話(桂東兵衛) ▲滑稽、人情、音曲一流(三遊亭圓遊) [illegible]

黄金館 正七時滿員札止 決死の影 伊太利各噴火口 撮影 泰西活劇 ムンロの秘密 全三卷 南總 里見八犬傳 全六卷

大正館 櫻井町 電話八七三
五月二十六日より新寫眞提供 ○喜劇プルマーの新兵 ○滑稽 [illegible] ○實寫 青山練兵場に於る鳥人スミス氏冒險飛行 ▲立花貞次郎 [illegible] ○新派活悲劇乳兄弟 [illegible] ○探偵活劇巴里の秘密 [illegible] ○江戸の俠客腕の喜三郎 [illegible]

御成座 明治町 電話二九一
市川海老松 阪東鶴一座 二十九日 前狂言 根岸磯肥前の松 五冊 切狂言 繪本太功記 一場 [illegible]

汽車 京釜線 京義線 南行 北行 [illegible]

不思議に生地の色迄も白くふる
クラブ白粉と
クラブ美の素白粉
御婦人のよろこび
他の白粉には眞似の出來ぬ
特長
純無鉛のクラブ白粉とクラブ美の素白粉は共にクラブ本店化學研究部新發明の獨特の美身劑が配合してありますから
附けて高尚で非常に美しく洗つた後も不思議に生地の色まで白くなる……といふ他の白粉には眞似の出來ぬ特長があります上に他の白粉よりは遙かに色が白く光澤があつて如何にも地肌の自然から出た白さ美しさを現はし尚ほ他の白粉よりはズツト分子が細かいのでノリもノビも一番宜ろしい上に永くお化粧が崩れません
これまでに類の無い白粉の發明
クラブ洗粉
クラブ齒磨
總本店監製

(明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可)　(年中無休刊)

京城日報

第二版

廿九日朝刊
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金七拾錢　…
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　…
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　…

……の經營其面目を一新せることに[illegible]……もの〳〵みなるに見れば[illegible]……に於ける[illegible]の時代既に去りて何[illegible]……しても事業に勵精し[illegible]……ゐるいは大豆、油粕、豆粕等僅かに年額四千萬圓乃至五千萬圓に過ぎ[illegible]……に成れる本溪湖[illegible]……は滿鐵に於て一大[illegible]……らん要す[illegible]は總て初めて實行せら[illegible]……投資を待つ[illegible]のなるを以[illegible]……不利益を來しつゝありたるが先般日[illegible]

●奉省外債償還

奉天省の外債にして本年中に償還至……と凝議の末中央に[illegible]……餘並びに地券官地兩局地價を截留し外債を償還し地方公債の募集成る……九圓を窃取したること發覺し本町[illegible]に引致されたり

京城日報
朝鮮鐵道の使命

朝鮮鐵道局新官制は、二十六日附を以て愈々發布せられたり、其の内容を見るに、長官を行政長官と爲すと共に、技監を廢して、參事二人を減じ、理事二人を置かんとするにあり。

抑も朝鮮鐵道は、日露戰役當時、臨時軍用鐵道監部に於て、京義、馬山線の急設をなし、明治三十九年、鐵道國有と共に、京釜、京仁兩線は政府に於て買收し、統監府は朝鮮鐵道管理局を新設し、茲に始めて朝鮮鐵道の統一を萌芽し、更に京義、馬山をも統一し、尚ほ京元、湖南線をも建設せり。朝鮮に於ける、主要なる各鐵道幹線は、先づ之を以て、京釜の一部を終り、今後に於ては、京釜線の改良工事、咸南北道貫通線等の如く尚ほ建設を要するもの多々ありと雖も、今日迄に、既に建設を終りしものは、實に其延長、營業總哩數は一千哩を超過し、政府が之れに投じたる資金も亦實に一億三千萬圓を上れり。

以上の如く、朝鮮鐵道工事の一段落を告げたるは、即ち建設時代を經過したる事を意味するものにして、今や愈々其の運用時代、營業時代に入れり。朝鮮鐵道の大飛躍を要すべき時代の來りしは、朝鮮の爲め洵に慶賀すべき次第にして、且つ朝鮮鐵道の眞價も亦、之より大に發揚せられんとす。もとより建設時代と、營業時代とは、其の大に異りたる點の多き、言を俟たず。されば其の時代に相應じ、相伴ひ、以て時運の進展に備ふべきは、洵に當然の事にして、又た贅言を要せざる也。

然り、朝鮮鐵道は今や、壯年の男子の如く、其の内に充實し、雄飛の進歩の域に達したるが、其の前途の使命も亦、頗る重きものあるを見る。歐亞聯絡鐵道として、世界交通の大要路として、西比利亞經由國際通路として、西比利亞及び蘇士經由周遊並に加奈陀及び西比利亞經由、世界周遊要路として、且つ日滿貨物聯絡日滿露旅客聯絡通路として、如何に朝鮮鐵道が、盡すべき任務の、重且大なるかを見よ。尚ほ西比利亞鐵道複線の完成せんとするに際し、有事の日に於て、大陸に對する、最捷徑路たる朝鮮鐵道の輸送力如何は我軍事上に於いても、亦至大の關係を有す。然り而して朝鮮鐵道の存する、此の大使命を果し、平素に於て其の運輸を充實し、有事の際に備へんとするには、特に營業上の施設、其宜しきを得ざるべからざるや論なし。尚ほ且つ朝鮮鐵道貨物の激增は年と共に著しく、明治四十一年度に於て、七八萬餘圓の缺損を生じたるも、四十三年度に於ては、三十三萬餘圓の收益を見、今や更に一躍一年に約二百萬圓の純益を見るに至れり。されば今日、此の莫大なる投資の運用、並に其の營業哩數の利用に鑑みても、今後は寧ろ、營業に如何に重きを措かざるべからざるやは、論を俟たざる也。此の方針に於て、今回同局官制の改正は、最も當を得たる次第にして、是より朝鮮鐵道の使命が續々到達し得らるべく、然り而して更らに、より大なる發展と、成功と好果を、吾人は期待して止まざる也。

如何にして内地に朝鮮を紹介す可きか(二)
喫緊の要務—東都諸名士の意見
□朝鮮俱樂部或は朝鮮協會の設立
代議士 山根正次氏談

□富源調査と迅速なる發表

朝鮮に於ける事な物々が日に月に長足の進歩を遂げつゝあることは我れ人共に驚いてるのであつて交通機關は充分に發達し衛生設備も著々完全になつて行き現在の朝鮮は到底昔日の朝鮮で無い。然かるにも係らず世人が朝鮮のことに就いて親しみの感情が薄いのは實に遺憾なことであつて畢竟朝鮮に關する確實なる知識を缺いでるからであらう。然らば何うしたら確實なる知識を與へ得るかと言へば多數の人が不斷に朝鮮へ往來して躬ら目睹耳聞するといふ風にするのが一番いゝが、其れには又た、朝鮮には斯くの如き利益が潛んで居るぞと富源を調査して其結果を迅速に公表するといふ如きことも必要である。兎に角、朝鮮へ行つて資本を投下すれば必ず利益は舉がるものとの觀念を抱かせれば、利益あるところへは期せずして資本も人物も集まる例で、從つて朝鮮といふことが一層深かく人々の頭に沁み込むわけである。

□朝鮮の利益を擁護する必要

而して、朝鮮へ行つて成功し、若くは朝鮮のために利益を得つゝある人達はまた朝鮮を正當に世間へ紹介する上には當然應分の義務を負ふ可きものであつて、朝鮮に於て事業上種々の關係を有する人達の手によりて朝鮮俱樂部とか朝鮮協會とかいふ類の社交團體は、東京大阪等の諸都市には必らず設けらる可きものであると思ふ。斯樣な團體が出來上がつてその團員には將軍あり、外交官あり、教育家あり、學者あり、實業家あり、貴衆兩院議員ありといふことになれば實にその團體の成立それ自身が朝鮮のために光彩を添ゆるものたると同時に、朝鮮の利益を擁護するといふ上に於ても甚だ結構であらうと思ふ。斯樣な團體はまた常に講演會を公開して朝鮮の事情を説明するとかいろ〳〵の方法の下に朝鮮の紹介を怠らなかつたら、朝鮮に關する世人の思想が一變するであらう

□二箇師團增設と朝鮮の開發

朝鮮に關する知識の貧弱なものは吾々代議士の中にすら尠くない。二箇師團增設問題の當時、私は委員會に於て、これは國防上必要な許りでなく、殖民政策上に於ても必要であると力説したが、現に、朝鮮に駐剳した兵士の中で、滿期除隊後あちらに土著して事業を始めたもの、成績は頗る見る可きものが有るといふではないか。朝鮮の開發上、朝鮮師團の增設は啻に獨り治安を維持するといふ點よりのみでなく、將來の日本を背負て立つ青年を新領土の風物に接觸させて一事業起さうといふやうな奮發心を起させる上からも好結果を來たすものと信じてゐる。(文責在記者—新賀生)

伊墺戰況

墺匈軍は伊軍がその主力を概ねイソンゾ河畔の戰線に集中して該方面に於ける墺匈軍の戰線突破に腐心するも昨年末以來何等の成功を收むる能はず徒に損害多き攻擊を反覆しあるを看破したる墺匈軍は茲に最近五月中旬に入り急遽伊墺東北部國境ロヴェルト地方の守備を極度に節約し卅萬に垂むたる大兵力をチロール地方に概してトレンチノ南方地區に移送したるを傳へたりしが果然同十六日に至り墺國皇儲がトレンチノ南方の戰線に馬を進むると同時に久しく沈默を守りて危險なるアルプス山脈の堅壘に惰眠を貪りつゝありし墺匈軍は決然蹶起して猛烈なる攻勢に轉じ來りチロール洲の西部及び西南部に侵入しありし伊軍は多少不意打を受けたる傾きを呈しその西方に於てモンアダメロ方面に南方に於てはロヴェルト南方アヂヂユ河谷に沿ひ又東方に於てはパスビオ、テラグノロ及びアスチコ河谿の方面に擊退せられ五月二十二日頃迄に已に一萬六千餘の伊兵と數百門の火砲とは墺匈軍の手に歸し墺匈軍亦二萬內外の損傷を出だせるも逐次前進を繼續中なるを傳ふ之を要するに墺匈軍今次大攻勢の眞目的が那邊にあるかは俄に推斷し難きも惜ふに已に述べたる如く伊軍が過度に其兵力の重心を東方イソンゾ河畔に傾注しあるの虛に乘じ墺匈軍は嘗て奈翁第一世の演出せし先縱を逐ひてトレンチノ方面よりアヂヂユ河谷を南下してヴェネジヤ平地を席捲し仍て以てイソンゾ河方面に於ける伊軍の背後連絡線を中斷せむことを企畫しあるものゝ如く萬一墺匈軍にしてヴェネジヤ平地に南下し得たりとせば是れ伊軍に取り由々敷大事にして是れが爲めイソンゾ河畔に作戰中なる伊軍の主力大約五十萬の內外の運命は憫むべしその退路を遮斷せられて腹背敵を受け勢ひ北部アドリヤチック海の海上輸送に活路を求むる能はずんば降服か將た全滅の外なかるべくこの際墺匈軍のこの方面に於ける南下は實に伊軍の運命に關するが故に伊軍亦大に努むべし

新外務省顧問と語る
大阪支局 一記者

故デニソン氏の後繼者として我外務省顧問に聘用せられたる英人トーマス・ベーチー氏は二十一日神戸入港の香取丸にて著任午後十一時三十分大阪通過東上せり博士は年齡四十八瘠形にて謙遜なる擧動は親愛の情を勃さしむ博士は曰く東洋に來るは今回が初度なるも日本の事情につきては諸書を繙き又日本古美術につきては其歷史の粹と風俗の美を知り夙に心醉して措かざりき又井上大使を初め從來の貴國の學者と母國にて親交を結び東洋の事情につき貴する所多かりき然るに今回貴國政府に聘せられ外務省顧問の地位を繼ぐにつきては予は前任者の衣鉢を承けて貴國の爲にベストを盡す決心なり

△日英同盟 につきては英國民は時局に鑑みて特に日本の好意に喜び中にも日本艦隊の助力にて極東の敵を一掃し蘇士以東の貿易を安固ならしめたる一事は殊に英國民の歡喜する處なり近頃該同盟につき或日本新聞紙に苦情を鳴らせし向きありとの事なるも日本官民有力家の意見は何れも同盟尊重に於て一致すと聞き英人は安堵し今後五年の期限は未だ

△極東平和 の爲に之を永遠に維持せんことを希望し居れり支那に於ける日英利害の矛盾説の如き畢竟敵國の中傷若くは數奇者の捏造に外ならず英國は日本と步調を共にして支那の領土保全を期する上に於て何等の異志なし戰局正面の舞臺は依然聯合軍に有利なり終局は聯合軍の勝利は最早疑ふの餘地なくロイド保險者の降下は側面より之を證明し居れり此の間敵潛航艇の暴行ッ式の來襲は言ふに足らず世人は敵潛航艇の跋扈を知りて其如何に多く

△英海軍に 捕獲されつゝあるを知らざるは可笑なり又ッ式は英國にては最早一夕の雷雨と同一視し更に念頭に置かず戰時中英貿易に關する英國の禁制品輸入禁止に付ては細目の說明さ打合には兩國の隙を以て圓滿に決著すること難事に非ず例へば棉花は禁制品と指定されしもレース類は除外されたるが如く細目につき研究の餘地少なからず要するに英國は勿論

△協商列國 とも今後の戰爭繼續には增税の必要あるを以て用を節し費を減じ奢侈を禁じて國力を涵養するは目前の急務なり因に博士は劍橋大學より法學博士の稱號を贈られ又羅馬法學博士のタイトルもあり其の著書には「南阿戰役國際公法」「國際法」「戰爭と法律上の結果」等ありて日本の法律家にも愛讀され居れり又千九百六年の伯林國際法會議を初め馬德里巴里倫敦の同會にも其の都度英國委員として出席したりと

日報歌壇
向仲 背果

□リトマスの青き光

梅雨に濡れて行く子のいとけなき心に映ゆる夕の街の灯。

ピーカーに滴り落つるリトマスの青き光や青葉もゆる日。

吾とかくはすかひにのみ行かまほし心にきづを持てる身なれば。

□烏龍茶　　蹈蜂

烏龍茶の匂ひが戀ししみ〴〵とネルの着物の心地よき朝。

初夏はペン〳〵草の白き花に輝けるかな默せる北街。

□鄙の中より　　三村秋月

彼れもせよ斯れもせよとて善き性と惡しき性とが我れを惑はす。

すげなくもポストの中に投げ込みし其のたくらみの悲しき哉。

日報俳壇
雉子郎選

行春

事毎に辭意の動くや暮の春　田打夫
行春や去るに定めて悔なき地　同
雨一日荷梅繕らふ夏隣　昌山
延々の妻の轉地や夏近し　同
歸れねば寫眞送りし暮春哉　山民
遺りし子を垣間見に行く暮の春　潮外星
七間を飛ぶ蠅食ふ鷄や暮の春　容堂
父を待つその母に春逝きぬ　榮坊
行春や師團置かるゝ舊帝都　義朗
高樓の巨柱蝕む暮春かな　青丘
去年寶りし牛市に見る暮春哉　竹水
陵の屍に春徂く錠の腐れ哉　東村

麗

列作られ嫁入通る堤うらゝ　合歡女
葬の甚松明や町うらゝ　山民

陽炎

陽炎や路傍の宮に蟻の陣　可雪
柒粉解き手を拭く草や陽炎なる　雲帝

◎戒嚴令と南方討伐（二）

北京政府は北京を始め北方各省全部に對し二十六日夜戒嚴令を敷き南方討伐軍を起すに決せり（北京電報）

◎多數は馮の意見に同意

南京會議と袁總統留退職意見

北京來電に依れば南京よりの信憑すべき報道に曰く南京會議が袁總統の退職に關し全員一致を以て可決せしとのことは確實ならず勿論代表者の多數は袁總統の退職を餘儀なしとせる馮國璋の意見に同意せんとするもの丶如し尙報せらるゝ所に依れば近く會議に於ける代表者は三派に分れ第一派は山東湖南の代表者を頭目とし袁總統は直ちに退職せんことを要求し第二派は張勳の代表者を頭目とし袁總統の留任を主張し第三派は代表者の多數を占めたるが右は馮國璋の意に從はんとする者なりと（上海電報）

◎成都獨立と曹錕

宜昌來電に曰く成都は二十五日獨立を宣言せるが在重慶北軍總司令官曹錕は之れに反對し重慶に四川政治機關を建設中なりとの報在當地二三商人に到着せり事實と信ぜらる（東京特電）

◎難問題は總統の後任

倫敦タイムス北京通信員の時局評

倫敦タイムス北京通信に曰く時局依然として停滯す實際の難問題は明かに大總統後繼者に關し意見の一致を見る能はざるが爲めなり一箇月前に組織されたる所謂責任內閣は事實に於て既に瓦解せり匪徒の横行益々增加し商業不振を極め財政上の位置は逐日不況に陷れり在留外人の不利益夥しと（北京電報）

◎英徴兵令實施允許

英國皇帝は徴兵令の實施を允許せらる從つて該令は六月廿四日以降效力を生ずる事となれり（紐育電報）

◎工場法施行令

芳川副議長の奏上

芳川樞密院副議長は工場法施行令に對する樞府特別委員會の經過に付き二十七日參內上奏を爲し且つ大隈首相に報告する所あり政府に於ても善後策に關する協議を爲し大體の方針決せる模樣なり而して當局者は右施行令に對する樞府の意向の一に愼重の調査を行はんとするにあるを以て圓滿解決を與へんとするにあるもの丶如し然れども之が實施の經費を帝國議會に於て協贊を經居る以上妥當の手段ならざれば多分一定の期間を延期し之れに對して樞府は充分に調査研究する事となるべし（東京特電）

◎豆粕堆積と不捌

滿洲特產上の問題

大連埠頭の堆貨は一時三十四萬噸といふ未曾有の巨量に達したるが其後輸出商談の成立と共に油房においても豆粕製造を手控ねたる爲め漸次減少し五月中旬には二十四萬五千餘噸に低下したるも昨年五月に比ずれば猶ほ三萬餘噸の多量なり此の堆貨處分は滿洲の輸出貿易別して

▲特產界の大問題にして就中豆粕の五萬六千噸即ち約二百萬枚は其の處分上重大なる問題と見られつゝあり六月は日本內地の田植時期にして農家の肥料を要する折柄なれば每年多少づゝの堆積を免かれざる豆粕も六月に入りて頓に內地に輸出せられ遂に堆貨を一掃するを例とすれど本年は昨年末の米價下落に依りて內地農家の懷中合一般に良好ならず自然購買力を減じ肥料としての豆粕購入も之を手控へ居る模樣なる處へ安價なる北海道の鯡粕肥料が鯡豐漁と相待ち其の供給力を增進し需要力を擴大し來りたれば運賃其他の關係上價格において到底競爭し難き滿洲豆粕は既に六月に入らんとする今日一向に內地との商談成立せず豆粕取引は依然不味一方にして其の不振殆んど絕頂に達し堆貨は今に至るも捗々しく捌けず一方

▲海運界の高潮に伴ふ船腹の不足と船價及び傭船料の騰貴とは滿洲特產殊に最多き豆粕の積取に二の足を踏ましめ船主は今日の如き場合割に合はぬ積取は御免蒙むるの外なしと稱し一向に相談に乘らず強いて積取を求めんとすれば運賃を釣上げざる可らざるも斯くては採算に合はず荷主の損失明白なるを以て奈何ともする能はず彼れ是れ相待つて豆粕の需要期に入れる今日猶ほ其の堆貨を減少する能はざる次第なるが豆粕輸出の不味は歐洲向豆油の製造能率を縮少し滿洲油房業の上に大打擊を加へ延いて滿洲特產界の出廻りに影響し生產上悲むべき結果を招來すべき虞あるを以て今日の如き事は或は一時の現象に過ぎざるやも知れざれど滿洲生產界の重大問題として將來の爲め研究をなすの必要ありとし目下關係當局間において種々に其の善後策を講究されつゝあり或者は是れ歐洲戰爭に伴ふ船腹不足が主たる原因にして內地の粕需要が思はしからざるも一時の現象なれば早晚回復の時期到來すべしと樂觀し居れど約二百萬枚の豆粕が今の儘にして引續き堆積を餘儀なくさるれば

▲結局品質を不良ならしめ又目減りを甚だしく輸出品としての資格を失ひ油房業の上に大損害を招かんこと極めて明瞭なれば滿洲も既に雨季に入りたる今日差當り如何にしても其の堆貨處分策を講ずる必要あり已むを得ずんば混合保管の上秋まで持越すの外なきも其の處分策として製造を他まで手控へ且都督府に對し特產積取船に大々的補助を與ふることを請願し以て輸出奬勵の途を講ぜんとの議もあり或は內地にダンピングを試みては如何との說もあり紛々たる有樣なり（大連）

◎滿鐵と各新線

決定次第直に實行

吉長線改約其他の件につき北京に赴きたる川上滿鐵理事は支那動亂に伴ふ北京政府の匆忙を極むる折柄その交涉意の如くならず豫定の如く取極め引揚げ難き有樣なるが吉長線改約の必要は北京政府も之を認め居ると云へば細目に多少の苦情ありて取極迄には猶ほ日子を要すべきも大體に於いて近く其の承認をなすべき模樣なり去れば滿鐵においては改約後の工事改良その他につき目下準備中にて決定の上は直に實行に取懸るべき手筈となり居れり次に北京政府と懸

濱正金銀行との間に借款成立せし四鄭鐵道は第三者たる滿鐵において其の工事を引受くることゝなり既に線路の實測中なれば遠からず工事に着手すべく四平街より鄭家屯にかけ本年中に工事の前途を見越して昨今邦人の入込むもの漸く多く鄭家屯には邦人の手にて旅館兼倶樂部の建設をなし居り同方面は漸次殷賑を加へつゝあり若し其れ東淸鐵道第二松花江以南七十哩を露國より我國に讓與云々に就いては滿鐵において極く打消し居り政府より何等の命令に接せず隨つて何等の準備をもなし居らずと云へるが早晚之れも何とか決定する事なるべし猶ほ滿鐵京奉鐵の連絡について北京政府交通部との間に種々打合せ中にて本件は滿鐵において其の軌道を改良し以て連絡結合に便ならしむるの外なかるべしと（大連）

◎留學生好成績

朝鮮人にして內地に留學する者目下一道三府二十六縣下に約五百餘名散在し其修業成績風儀等も逐年向上進步の情況を呈し來りたるは洵に慶ぶ可き現象にして殊に本年春季の學年試驗に於ては左記十三名に對し成績品行共に優等なりとして總督府より其々賞狀並に學用品料の贈與を受けたる旨此程東京留學生監督部より本社宛通知ありたり

●鄭錫、金東祜、張寅述、李敬順、金東鉉、李允寶、許伯顯、朱耀翰、金佑鎭、愼金石、河駿錫、曹培女、李永發

◎黃色煙草移出

忠州煙草耕作組合にては大正四年產黃色煙草一萬貫餘を大藏省專賣局へ賣り渡しの交涉纏り目下荷造り發送の手續中なるが朝鮮產葉煙草にして內地の製造煙草原料に供用せらるゝは今回を以て嚆矢とす

◎東拓の藏穀高

東拓最近の穀類所有高は籾二十五萬六千石、大豆八千四百石雜穀一萬一千石及び棉二萬九千斤にして籾石五圓、大豆石六圓五十錢雜穀石三圓五十二錢、棉百斤七圓と評價し其の所有穀類及び陸地棉の總金額は百九十六萬七千圓餘に上る由

◎物集博士出發

物集文學博士は本社大邱支局主催の講演會に臨むべく二十九日午前八時三十分南大門發同地に向ふ

◎東拓總會の一幕（下）

▣先づは無事にて目出度し／＼▣

▼此時二十五番と叫んで立上つた大阪の箕口某君、質問がありますと前提して、重役諸君は補給金を失つて責任上辭するといふのか補給金が無くなつて社の經濟がとれぬから辭するといふのか其邊は不明瞭であるが、一體重役の誰が辭表を出したかそれから若し再び任命されたら享けるつもりか此二點を質問します。と威丈高になる。此二十五番君は所有株數一株決議權數一箇の株主で、前總會に於ける大阪側の態度を、今以て繼續して御坐るのだ

▼私と野田副總裁とは總督まで出しました。林井上兩理事は野田副總裁の手元まで出してあると聞いて居ります。再び任命されたらうける乎といふ御訊ねで厶いますが、左樣な場合を豫期して居りません。と總裁輕く流す。

▼それを追かけて、一千萬圓の資本金で卅何萬圓の俸給を出すといふ會社は無い。此根本を改造するに留意して頂きたい、とまた二十五番君が猛り出すと「議長四番ッ」と突立上つたモーニング。

▼「私は一株宛七十九會社の株を持つて居つて、何れも其總會に出席するものであるが……」といふ切出しで先づ傍聽席を笑はせ、畢竟補給金が無くなつたのは株主も責任がある、前總會の紛擾を政黨のために利用されたのだから、株主は重役を助けて、政府の補給金を得る工面をしたらよからうといつたやうな說を吐いて、今更大阪方の株主のやうに死屍を鞭つやうなことを言ふのは不贊成だと大に江戶兒を發揮した積りか何かで廿五番君を尻目にかける。と、廿五番君も默つてはゐず、聲は大きいが、渡り科白が[illegible]くある。此四番君は山本君とか言つた。

▼聽て、財產目錄、貸借對照表、損益計算書、利益金分配案などに就いて質問が連發するのを井上理事が其れ／＼受け流す

當座預金をかく多額にせず少くして置いて少しでも通知預金位にしてあつたら資金の運轉上便利であらうとの御意見でありますが如何も御同感であります。しかしこれは三月卅一日迄く政府から卅萬圓の補給金を下附されましたので夫れを當座預金以外に保管へる時間が有りませず左樣な數字が出て居ります。また竹林買收林野新設等に三十萬圓を投じてるのは目下の場合不急の投資でないかとの御意見でありますがこれは殖林事業であつて今手を引くと損害がある爲に斯く致して居るので御座います。稅金が多くかゝる。經費がかゝるとの御說も御座いますが、稅金のことは申す可き筈では御座いませぬから申上げませぬが經費の點につきましては本年度に於て俸給のみで一萬圓その以外には六萬五千圓といふもの節約してゐるのであります。また昨年度と本年度との損益の對照がわかり惡いとの御說で御座いますがそれは前總會に於て株主よりの御希望に添うて勘定課目を更へましたから自然其結果になりましたので御比較が一寸難かしからうと思ひます。昨年度と本年度とを比較して見ますると昨年度の利益は五十一萬[illegible]本年度の利益は約七十萬圓これを細かく申しますれば本年度は、昨年に比して金利に於て約八萬圓增加し、耕作收穫に於て[illegible]の變化のため十一萬八千圓少く殖ひ、經費節約のため十萬九千圓を產み、前年度に二萬二千圓を計上した重役賞與金は本年度にありませず尙[illegible]るに[illegible]償却金に於ては已に[illegible]る故差引きまして[illegible]申上げます。尙、倉庫の貸付金利は如何であるかとのことで御座いますが貸附金利の高いのは一割二分低いのが六分三厘平均利率九分六厘三毛となつて居ります。此他三萬三千圓計上[illegible]のものに對して一割八分といふ利となつて居ります。[illegible]五萬圓減じてゐるに係らず前年度に辭退した役員賞與金を本年度に二萬圓計上したはいかなるわけかとのお訊ねでありまするが役員賞與金を減じましたのは十年來ない米の安値のためで致方もない次第賞與のことにつきましては御容赦を願ひます。

▼この後が大變、賞與金御辭退あつて然る可しといふやうな大阪方の一票氏の意見に對して、東京方株主の駁擊それに對する一票氏の固執、しばらくあつて、いや見つともないこと、傍聽席でも苦い顏。

▼とゞ、原案通り凡て可決。補缺監事の選擧は議長指名の入江理財課長、松木、中谷三名の詮衡委員の手で福本元之進君を推選。先づは無事にて、三時二十分打ち出し。書類を片付ける堀江秘書役の顏が特に冴えて見ゐる。（東京支局にて高賀生）

人事消息

▲三井十三二氏（平壤覆審法院檢事）入京中の處二十八日夜歸任

▲木下淑氏（鐵道院運輸局長）同上

▲センス氏夫妻（米國商人）二十八日夜入京朝鮮ホテルへ

■南言北語■

獨立各省が南京からの和議の通知に對し見事に肱鐵砲を喰はしたので折角の會議もオジヤン▲主催者の馮國璋將軍はおかげで男振りを下げた譯だ▲之れをキッカケに馮君が愈々武力に訴へて革軍とやると喧嘩やるのか何うか▲馮將軍たるもの此の儘引き下る譯には行くまい▲イヤ已も此頃は之れ丈けしか勢力がないのかナーと悄然る勿れ▲奉天では張作霖君が危ない命拾ひをして居ながら一作霖死すとも百の作霖ありなど熱を吹いて居る▲其の警戒を益々嚴重にして兵隊の屏風の內から最う出て來ないだらう▲綠林の出身にしては存外肝ッ玉の小さい處があるからナア▲音子が云つて置いた通り奉天も最うソロ／＼始めかけた▲未だ之れからが問題だぞ▲問題と云へば大問題は袁總統の病氣だ▲時も時愈々渦亂紛擾に陷らんとして居る總統の病氣は更らに其の紛擾を大ならしむるものだ隣邦の爲め大に心配せざるを得ない▲中立國は交戰國同志が媾和條件を相互に了解した後で初めて仲裁に這入るものだとはウイルソン大統領の大出來▲獨逸がおやり下さるなら今だと秋波を送つたつてウ氏が此の態度ぢや獨逸の運動は疲れ儲けだ▲獨逸がブツ／＼云ふなら潜航艇問題では己れに何う云つたとやり返してやれ▲して見ると獨逸は最早浮木をも得ない盲龜同樣▲之れこそホンに取り付く島もなくなつたから破れかぶれになるより外はなからう▲大に笑つてやらう

司直縱談

法官歷訪錄

▲文明と犯罪

□明るくなる程影が黑い

釜山地方法院 鄕津檢事正

▲北鮮西鮮と目的を決めて來る者は兎も角も朝鮮で一儲けしようと思つて漫然とやつて來る連中が殆んど總て釜山に腰掛ける。其れが不慣れの處ではあるし思ふ樣に仕事が見付からないうちに懷中が不如意になる―此樣な連中が行き詰ると大抵は我々の厄介になりに來る。

▼釜山と云ふ處の位地から右の樣な種類の人間がゐる一方に、古い市街丈けに素質穩健な氣風も多く同じ建築にも間に合はせでなく、礎石から壁迄吟味して掛ると云ふ風がある。釜山の發展は遲々として穩健に發展して行くべきものであらう。連絡船で入港する時五六島の沖から峨嵋山が鬱蒼と見ゐる樣にならなければならない。

▼釜山での最近の事件は、東萊溫泉の強盜殺人だ、吾々の眼から見ると非常に大事件なのだ、何しろ強盜殺人なのだから證據さへ充分ならば死刑を要求するし、不充分ならば無罪にしなければならない、死刑か無罪かと極端から極端にしか行けない事件なのだ。

▼一體世が開けて行けば行く程犯罪の種類が厄介になつて行つて、智慧を絞つて犯罪の經路を紛糾させ、不明にしようとするから、司法官の方では益々取調べが煩雜に成つて來る譯である。明るい處が廣がれば暗い處も廣くなつて行くのは止むを得ない事だ。

▲平壤學の研究中

平壤覆審法院 鳥山法院長

▼京城に二年許りゐて三月に平壤に轉じたのだが、四月になると直ぐに東京に出懸けて一箇月を費やし歸へると、今度の會議で入京したのだから、藷張り平壤の事は分らない。寧ろ京城の方が詳しい譯なのだ。今度歸へつたら悠くり地方の巡視をやらなければならぬ。そして漸く平壤學を研究しやうと云ふ譯だ。

◎段內閣の動搖

臨時特別大[illegible]

近內閣維持案其他刻下焦眉の大問題に就き臨時特別閣議を開きたるが第一山東省大局の維持手續にて[illegible]日外交の關係最も[illegible]て先づ保護[illegible]び實行方法を充分[illegible]

[illegible]るを告發せられ本月十八日富事分隊[illegible]に處せ

[illegible]近に燃え廣がり蒼坪洞より消防組の非常召集を行ひて防火に努めたる結[illegible]

[illegible]常設館座に雇はれゐる活動辯士[illegible]

[illegible]前大邱警察署にては同地警察に依賴[illegible]

[illegible]の內地人が集合し居るを覗ひ玄關口に脫ぎある上等護謨靴三足（三十餘[illegible]之を竊取せんと[illegible]

獨逸皇帝裁可 日本征服

獨逸皇太子副官ホルレイベン述（發兌）
瑞西新聞記者ベルンハルト原譯
日本 樋口麗陽譯
獨逸元帥ヒンデンブルグ
獨逸元帥マッケンゼン（張主）
參謀總長ファルケンハイン
日獨逸は戰慄すべき日本の征服を盛んに計畫せられ各將軍連署發表せる宣言書即ち本書である此計畫の斷行の場合日本は興亡浮沈何れかに決せらる理由如何の方法により日本は是非共斷行せんとすべし獨逸は如何の心あるか一片の愛國の日本國民一讀再讀緊褌一番すべし世界的怪傑カイゼルが我日本に對する復讐的計畫を見よ
正價八拾五錢 送料八錢
警告 如實行飛 忽四版 告
京城本町一丁目 日本書院 大阪屋號（特約）

最新完備の理想的掛圖
富山房編輯部編
最新刊 大日本帝國全圖
石版十回刷 ●軸製金壹圓貳拾錢 特に正確
人事萬般地上に關せざるなく、地圖は實に各人活動の唯一指針也。弊社乃ち多年の經驗に鑑み、其大さに於て我邦の家庭に最も適當なる頃合を執り、新領土を併せて廣袤四萬三千餘方里に亙れる帝國の全土を巧に一圖の上に表はし、彫刻精緻、印刷鮮明、著色の利用巧妙を極めて臨調の明確なる等、理想的地圖の要素一も備はらざるなし。凡そ文明的要具として各家庭は之を備へて日用の便益、子弟敎育の資とすべく、學校、官衙、諸團體亦藏して日々無限の洪益を享くべきなり。

最新 大正版 世界全圖
理學博士 小川琢治先生編
小川博士校閱 富山房編輯部編
體裁特色特價送料等總べて前圖と同樣 各人學庭の世界的設備品の第一、萬人必備の模範的地圖

八判 歐羅巴精圖 附山東半島膠洲灣
石版八回刷 ▲定價卅錢郵稅不要
東京神田 富山房 振替一〇五
寶捌所全國各地書店

海岡蘭竹譜 上下二冊 上製特價三圓六十錢 並製特價二圓六十錢
海岡金圭鎭先生の著作にして氏は十年間支那にて書畫法の眞髓を研究し歸るや韓國皇室の御用書畫家となり英親王（李王世子）の書法敎授として多年奉侍せられ昨年春は李王家より天皇陛下に獻上せられたる蘭竹御屏を揮毫し共進會には閑院宮殿下御買上の光榮を蒙れる朝鮮の蘭竹名家なり本書には蘭の葉花及竹の幹枝節葉の寫法を明晰に說明揮毫して獨習に供し寺內總督、山縣政務總監及日鮮詩書名家の親筆讃題を揭げたる書畫研究家無二の寶鑑なり
告白 高裕相
發行所 京城南大門通一丁目 滙東書館
分賣所 京城長谷川町九十六 書畫研究會
京城本町二丁目 大阪屋書店
平壤水玉洞 箕城寫眞館

日韓書房 新版報吉
中川靜著 信書精鑒 上下卷 各價一圓八十錢 送料十四錢
三澤力太郎著 天界の現象 定價一圓二十錢 送料十錢
木下豐太郎著 化學實驗法講義 定價八十錢 送料八錢
安藤伊三次郎 鑛物界の現象 前編後編 各價九十錢 送料十錢
三澤力太郎著 自然界の現象 定價六十錢 送料八錢
京城南大門通二丁目 電話[illegible] 振替[illegible]

ベツプサイダー ブドウサイダー ヤリン一郎ラムネー
發賣元 平壤泉町 梶原商會支店

の外に二三[illegible]の辭表を提出せんと するもあり內外多事難の際とて段總 理は名狀し難き苦境に陷り其結果最
[illegible]二案は第二號[illegible]て斯は成る可く現援再始を遂行すべ き完全の辦法を妥定すると第三案は
[illegible]は全く固定の有備たるが是れ故なき[illegible]至ならざる時は某々方面より[illegible]辭せら[illegible] 變事を發生せざるやを蹈し難きを以
[illegible]例へば大倉組と奉天總督の共同經營[illegible] て火を失し國有林約十坪を燒失した
[illegible]る曉之が伐採事業は[illegible] 定地上なる國有林に於て火を失し附
[illegible]べし（未完）

◉活辯は尋ね者 大邱活動[illegible]假名木崎泉（二八）の兩名は過般大邱を逃亡し內地別府に逃れ同地活動[illegible]李福童（二〇）は古物買取の風を裝ひ五月十六日龍山漢江通關根某方に數名

東京大相撲

▲十日目の勝負

廿八日午後東京支局特電

勝		負
荒玉	より	藤ケ谷
大の高	より	成瀬山
大の川	かはし	稲の穂
宮城山	ゐだし	寒玉子
紅葉川	つきだし	近江富士
大戸平	より	岩木山
鶴渡	より	小常陸
柏戸	すかし	釋迦嶽
玉手山	かはし	源氏山
土州山	より	朝ゝ緑
眞砂石	預	兩國
石山	より	紫雲龍
對馬洋	もたれ	大蛇
朝潮	おくりだし	栃木山
太刀山	より	西の海
△中入後		
藤の川	うわて	龍ケ崎
千葉崎	より	四海波
敷島	やうち	稲葉嶽
梅川	こて	千年川
黒瀬川	ひねり	玉の川
大鳴門	休	宇都宮
三役		
逆鉾	つきだし	鳴門洋
九州山	より	浦の濱
大錦	より	伊勢濱

右の內▼大の川●稲の穂は大の突きかけ突きかけて引落さんとする事再三稲殘して突き合ふ內大の左を淺く覗かせ肩透かし極まる▼寒玉子●宮城山は寒の突き進むを宮城島渡ハタキ寒が廻り込まんとするを横から突き出して宮の勝▼紅葉川●近江富士は近江が足どりに行くを突き除け突き出して紅葉の勝▼大戸平●岩木山は岩の烈しく突きかけるを大受け流し左を差すや疾風の如く寄切る▼鶴渡●小常陸は左差一氣に寄切つて鶴の勝▼柏戸●釋迦ケ嶽は鳥渡突き合ひ左四つとなるや柏寄ると見せ釋迦の堪ゆる所を肩透かしを引いて勝▼玉手山●源氏山は一合して玉早く左四ツに渡り源が更に左を差さんとするを玉差させず左上手に突き離を引いて例の通り十分に喰下り頭捻りを引きしも源殘して引き立てゝ寄らんとするを外掛に靠れ込んで玉の勝は自由自在

▼眞砂石に兩國

は双方大切の相撲なれば互ひによき所を差さんとして仕切直す事數回兩突きかけて見ても眞砂立たざるため双手にその片立ちを押へて一押し支へて力を拔きたる所を眞砂構へて一氣に寄り進みたれば兩は意外の短距離にて押されながら眞砂の腕を引かけ小手投を振りしも兩は既に土俵を踏切しあとにて眞砂は一ぱし勝の積りにて二字口に勝名乘りを受けんとせしも立合行司泰造は眞砂に立つ氣

▼大蛇潟に對馬洋

は右四ツ對馬左上手を引いて吊らんと身構へするを大蛇吊られる用心を爲しつゝ强引の下手投を打たれんとするを外掛けに靠れ込みて對馬の勝

▼朝潮に栃木山

は當日第一の好取組滿場多大の興味を以て勝敗如何と見てある內栃木の聲にて立ち上り栃木左を當てゝ一氣に押切らんとするを朝殘して廻り込み左を差さんとするを栃木差させずドコまでも左を當てんとして互ひに左右の攻め合ひとなり朝敵の腕を引張り込んで泉川に撓めしが直ぐ解けて右四つとなるや朝寄ると見せて栃木の怺へる所を下手の出投を打ちすを透かさず右手に褌を取りしまゝあとから送り出して美事なる大關振りを示して勝

▼太刀山に西の海

は兩横綱の顔見合せ頗る立派なり双聲に立ち上り太刀の右手を當てゝ差進むを西殘して右四ッとなるや勢ひ込んで寄り立つるを西土俵を廻つて殘せしも遂ひに正面溜りと西溜りとの間へ寄り切り太刀の勝にて最優等として例の寫眞額を掲げらるゝ事となれり

▲中入後

▼藤の川●龍ケ崎は突き合ひ藤突き進むを引つ掛けられて危うかりしが殘して右四つに渡り上手投にて藤の勝▲敷島●稲葉嶽は敷の突つ張るを稲殘して右四つ敷强引に吊らんとし稲反對に吊り出さんとするをウッチャつて敷の勝▼千年川●梅川は千年左を差さんとするを其の手を梅右手に捲き體を開いて小手投を打てば極つて梅勝▼黒瀬川●玉の川は右四ッにて玉下に入らんとするを上手捻りにて黒の勝▲鳴門洋●逆鉾は鳴の出鼻を逆叩き殘るを透さず押し切つて逆の勝▲大●鳴門に宇都宮休み

▼大錦に伊勢濱

は左四ツ伊勢の小手を振らんとするを體を附けて寄り切り錦の勝其れより白の幣弓取りの式をつとめたる後當場所の成績は東方の勝星八十に對する西方の勝星は百六なれば其の差二十六にて西方の大勝に歸し優勝旗は四年六場所目にて西方の手に入ることゝ爲り西方の代表者として太刀山、伊勢濱、朝潮、大蛇潟、浦の濱の五力士土俵に上り取締出羽の海より優勝旗に添へて目録を授與し太刀山は優勝旗を三役以下の成績優等者なる旗手大戸平に渡し一同は得意の喜色を滿面に湛へつゝ西方萬歳の聲に送られて各部屋に入り午後五時五十分芽出度千秋樂を告げたり

並木の陰……南大門通り……

◉献納すべき 朝鮮煙草

總督府專賣課にて謹製中

總督府にては朝鮮産の葉煙草を用ひ太、細二樣の口付紙卷煙草二千本を謹製して本年三月末畏き邊りに献納し御嘉納あらせられたる事は當時の紙上に記載したるが其後洩れ承はる處に依れば細卷は殊の外思召に叶はせられ此程更めて御下命ありたるやにて侍從職より總督府に細卷一千本の至急製造方を申越しありたり仍つて度支部專賣課にては早速總督の命を受け數名の技手を指揮し技師岡田虎輔氏は齋戒沐浴して昨今中樞院內の專賣課分室に籠り專念謹製に從事しつゝあり今回は前回よりも更に優秀なるものを製作して有り難き思召に副ひ奉らんとて盡越葉を以て先づ六種の口付紙卷煙草を試製し、其內から一種を選びて、献納するの手續に及ぶ次第なりと

◉展覽會めぐり

＝同じ日に開いた 四つの畵の會＝

土砂降りの廿八日腕車を驅つて畵會を廻ぐつて歩く。明月館の楊小石、竹西女史の作品展覽會へ這入る、會場は三階に設けて在る二畵伯の作品が數十幅四方の壁に並べられて居る

△古恬な畵風▽ が限りなく俗離れのした感じを起さしめる多數の作品中で楊小石の松、鷹、鷲、雁、竹西女史の梅、竹、蘭、雁などは出來榮に愛でたきものである猶此の畵會の興趣を助けんとて茶洞廣橋等より春史花隱、雙松及び其他多數の妓生等集り來つて揮毫の需めに應じて居つた會員には小松朝長李鎬鎔子爵其他內鮮の名士が頗る多く見えた

△南山町の▽ 森勝次氏方に滯溜して專ら勞作に從事して居る日本一千名所畵會主小山雪耕畵伯を訪ふ勿論展覽會ではないが氏の作品の完成したものが多數陳べてある恰度寺內總督から委囑された對の「高尾の時雨」『嵐山の花筏』の大作に取り掛つて居つた氏は四條派の名家として其の作品は何れも

△多大の勞作▽ に成り丹青細密感嘆に値する作品が頗る多い氏は總督より委囑せられたる作を完成し直ちに李王家の需に應じて或る作品に取掛る筈であると云ふ陳列された內で上野の塔、月夜の狸、柘榴、武陵桃源などの畵は日本畵として權威あるものだと思つた、京城ホテルの

△ふみを畵會▽ を覗く非常に作品の多いのを嬉しく思つた第一室の五月雨は大變好い感じを與へて呉れた其他木蔭、桐の花、雪、朝顔、瓢などは非常に好いと思つた、肉の誇りは勞作と見ねたが大變不自然で少しも柔かい感が無い殊に左の肱の所など妙に角ばつて居るあどけない妻は少しもあどけなくない疲れた女の様に見ねた總じて小さな作品がよく大きな畵に力が充ちて居らぬ様に感じた殊に此の作家の個性の發揮を充分に認める事の能きなかつたのは殘念であつた

△才崖畵會を▽ 見た其の作品の非常に多い事に先づ一驚を喫したあんなに多く見せるよりも數は少くともモつと眞面目の勞作を見せて貰い度かつた此の內で牡丹と古城趾とは好い畵だと思つた一所に陳べてあつた彫像及び二三の一刀刻は刀を細かく使つただけで氣分のよく現はれて居らぬのが遺憾であつたが而し此の畵會を助ける事の大なる力があつた（華末生）

夏場所大相撲幕內成績表

（例＝太刀山欄にて○宇都宮は太刀山の勝）（例＝宇都宮欄にて●太刀山は宇都宮の負）（表中ヤは休×は分△は預）

東勝八十　西勝百六

東の方

力士	初日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日
西ノ海	○八甲	○鳴門	○石山	○玉手	○浦濱	○大鳴	●大戸	○伊勢	○大蛇	●太刀
大錦	○大戸	○石山	○玉手	●浦濱	○鳴	●龍渡	●太刀	○朝潮	○大鳴	○伊勢
對馬洋	○鳴門	●玉手	○龍渡	○石山	○大鳴	●眞砂	△伊勢	△浦濱	●太刀	●大蛇
綾川	●眞砂	ヤ伊勢	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ
栃木山	●千年	○黒潮	○大蛇	ヤ八甲	○玉手	○伊勢	●石山	○太刀	○浦濱	●朝潮
兩國	○大蛇	●太刀	●伊勢	○寒玉	○千年	○石山	●黒潮	○大蛇	●朝潮	△眞砂
九州山	●朝潮	○鶴渡	○黒潮	●大戸	●太刀	○大蛇	○鳴門	●玉手	○伊勢	○浦濱
源氏山	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	●太刀	○大蛇	○石山	●紅葉	●玉手
宇都宮	○浦濱	[illegible]大蛇	●太刀	ヤ朝潮	○伊勢	○千年	○柏戸	○眞砂	●大戸	ヤ大鳴
釋迦嶽	●伊勢	●浦濱	●朝潮	●太刀	○大蛇	●鳴門	●寒玉	△稲穂	●石山	●柏戸
紫雲龍	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	●土州	●大鳴	●數島	●稲葉	●石山
小常陸	●石山	○八甲	○鳴門	○伊勢	●數島	○寒玉	○浦濱	○柏戸	●玉手	●鶴渡
近江錦	●柏戸	●朝潮	●八甲	●大蛇	●石山	○數島	●土州	●黒潮	●寒玉	●紅葉
岩木山	●太刀	●大蛇	△浦濱	●千年	●紅葉	●玉手	○稲	○寒玉	○柏戸	●大戸
大ノ川	●寒玉	●柏戸	●數島	○大鳴	○土州	●紅葉	○玉手	●千年	×黒潮	○稲
宮城山	●大鳴	●千年	●大戸	×鳴門	●柏戸	●黒潮	○數島	○土州	●鶴渡	○寒玉
梅ノ川	●玉手	○土州	●大鳴	●眞砂	○鶴渡	○浦濱	●紅葉	●大戸	●數島	千年
朝緑	●數島	●寒玉	●鶴	●柏戸	×稲	●大戸	●藤川	●紅葉	●千年	●土州
稲葉嶽	●黒潮	△大戸	●千年	●鶴渡	●眞砂	○柏戸	●千年	●鳴門	●土州	●數島
四海波	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍ケ崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉ノ川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
逆鉾	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

西の方

力士	初日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日
太刀山	○岩木	○兩國	○宇都	○釋迦	○九州	○源氏	○大錦	●栃木	○對馬	○西海
鳳	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ
伊勢濱	○釋迦	ヤ綾川	○兩國	●小常	●宇都	●栃木	△對馬	●西海	●九州	●大錦
朝潮	○九州	○近江	○釋迦	ヤ宇都	ヤ	ヤ	ヤ	●大錦	○兩國	○栃木
大蛇潟	●[illegible]	○宇都	●栃木	○近江	●釋迦	●九州	●源氏	○龍崎	●四海	●對馬
浦ノ濱	●宇都	○釋迦	○岩木	○大錦	●西海	●梅川	●小常	△對馬	●栃木	●九州
石山	○小常	●大錦	●西海	●對馬	○近江	●兩國	○栃木	●源氏	○釋迦	○紫雲
大鳴門	○宮城	○岩木	○梅川	●大ノ川	●對馬	●西海	○紫雲	●兩國	●大錦	ヤ宇都
玉手山	○寒玉	○對馬	●大錦	●西海	●栃木	○岩木	●大ノ川	○九州	○小常	○源氏
八甲山	●西海	●小常	○近江	ヤ栃木	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ
鳴門洋	●對馬	●[illegible]	●小常	×宮城	●大錦	○釋迦	●九州	○稲葉	●四海	○逆鉾
鶴渡	○龍崎	●九州	●對馬	○稲葉	●梅川	○大錦	○玉手	●四海	○逆鉾	○小常
大戸平	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黒瀬川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
寒玉子	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
司天龍	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千年川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
土州山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
稲ノ穂	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
紅葉川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
明	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ
柏戸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
數島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

□大相撲の懸賞當選

應募數二萬餘＝適中者二百八十九名

東京大相撲夏場所に先ち場所中の好取組に對し本社が例年の如く賞を懸けて勝負豫想を募集せし所在鮮相撲好角の寄つて之れに應ずる者頗る多く答案の葉書は日々記者の机上に堆を成し十八日の日附印を以て全く締切となせし時は實に二萬七千六枚に達し其內規定違反のため無効となれるもの六十二枚を除きても倘ほ一萬餘通を算するの盛況を見たり中には出題取組を活版又は謄寫版にて數十枚乃至百餘枚を印刷に附し一々勝敗の印符を施せるもの十五六名あり、その熱心には流石の記者をして一驚を喫せしめたり、然るに本場所の取組中豫期せざりし鳳、綾川、明の病氣にて休場せるあり宇都宮玉手山の番は協會の都合にて顔合せ無く甚だ遺憾ながら大錦對朝潮、九州山對伊勢の濱、栃木山對大蛇潟、兩國對大鳴門、釋迦ケ嶽對石山、岩木山對紅葉川の六番に對して採點せし所取組數尠なきためか適中者意外に多く實に二百八十九名を算するに至れり、その結果已むを得ず編輯局に於いて抽籤を行なひたるに左記の如く入賞者の決定を見たり、然してその豫想の一斑を見るに大錦に朝潮は朝潮の元氣が喧傳されし結果ならん朝潮を勝させる者多く七三の割合を示し九州山に伊勢の濱も番附面に於ける兩力士の位置を根據とせるものか又は九州の實力未だ容易に伊勢に及ばざると推定せるによるか七三にて栃木山に大蛇潟は栃木六分大蛇四分、兩國に浦の濱は兩七五、浦二五の割合にて釋迦ケ嶽に石山、岩木山に紅葉川は釋迦、岩木の勝を豫想せる者多かりしが事實は石山紅葉川の勝となれり

△一等一人（銀側懐中時計一個）
龍山歩兵第四十聯隊官舎 八尾 幹

△二等二人（上等反物二反）
京城寺洞製絲所 水津 慶介
京城明治町二丁目十五番地旧丸旅館內 吉永 文吉

△三等三人（上等置時計三個）
仁川新町 菊地 病院
慶北大邱本町 南 基洪
忠北清州 岡本 邦夫

△四等十五人（卷煙草一箱宛）
楊州郡榮山面山村肇△京城本町二丁目の九八の二吉川登三郎△京義線興水院村芳太郎△木浦電燈株式會社寺本金次郎△黄海道載寧郡湖里面馬山洞松永康吉△仁川松坂町一の一〇横山樵二△仁川寺町官正徳△龍山鐵道官舎四二號五戸副島方松本茂八治△熊山浦田萬病院內部龍春△京城茶洞町二ノ八〇番地馬場方山崎作次吉△京城明治町一ノ七吉谷定△平壤南山町松郎△京城初音町一大野辰次方金田文非△新龍州本町矢野二郎△京城吉野町一の三八の二八田中調

△五等三十人（脂袋一個宛）
忠北清州本町二慶川岩吉△京義線鳥致院佐々木醫院內湖坂岐△鳥致院驛構內丸鳥運送店△群山府明治町通九二鵜田梯吉△全羅北道井邑郡川邑驛上原柳太郎△忠北清州旭町一二岩田正一△市內吉野町一丁目一一今井節郎△市內和泉町六鶴田千穗△市內櫻町四六佐藤辰郎△市內太平通二の六〇大平館木塚重夫△京城水原町三九井田邦夫△京城四小門町一二七猪山重三△京城本町二ちちぶや方田中久雄△龍山元町二の六五龜田正△京城南大門通一の一六吉田方岡野謙△龍山葉栗第二區松山雅楽△鎭海鉄工場桑原宗一△市內本町四の五一津村のぶ△京釜線三浪津川崎惣兵衛▲元山本町三笠井吉太郎方丹野孝信△元山郵便局鶴志田生△仁川驛前中路運送店中野角▲京義線黄州[illegible]

▲注意 賞品は六月五日より發送を開始すべく京城龍山の入賞者は同日以後直接本社へ出頭受取られたく支局所在地の向きは支局へその他は本社より直送すべし

◉佐賀縣人會 京城在住佐賀縣人會にては鍋島侯爵並に中村純九郎氏の入京し居るを機とし二十八日午後一時より旭町醉陽軒に於て兩氏の歡迎を兼ね春季總會を開催し餘興として落語、長唄、踊、浪花節、琵琶等の催しあり午後三時より園遊會に移り盛況なりき

◉青森縣人會 京城在住青森縣人一同は二十八日午後五時より本町清香園にて春季懇親會を開催せり

◉肩摩轂撃

＝大繁昌の＝ 京城工業專門學校の展覽會

毎年春秋二季に工業學校が展覽會を開いて一般の縦覽を許すと同時に、販賣する物品は丈夫で安價いと云ので評判が高い

▲非常な評判 だが今年は學校も格が上つて專門學校となり何となく其作品にも生徒製作品以上の値打が出た樣に思はれる、其れかあらぬか廿八日の展覽會には非常な人出で鍾路通りは素よりの事電車と云ふ電車は工業學校行きの人で滿員と成り歸へりの電車の大部分はバケツを下げたりスペードを持つた客である工業學校の展覽會が京城市中全般にどれ丈け澤山の製

▲作品を撒布 したか知れやしない怎麼樣子かと正午頃覗いて見ると電車を下りた鍾路通りから學校の前迄往くさ來るさの日鮮の老幼男女がお祭り騒ぎに後から後からと續き學校の正門前には護謨玉屋や駄菓子屋が客を呼んでる仕末、門を入ると右の方に道が繩張りされてはゐるが形無しに壊されてゐるので僅に

▲人の後から 跟いて行く、染織、窯業、金木工の各科共其仕事場は開放されて製作狀況を示してあるが到底も悠つくり見物してる時間など無い程に後から後から見物が詰め寄せるやつと陳列場に入つたと思ふと是れは又身動きも出來ない程の勢ひで作蠶織一反買ふ爲めに洋傘の骨を折つたり洗濯石鹸を買はうとして齒をこはされたりして

▲泣き相な顔 をしてる若い奥樣があれば既に買約濟の札の張れた机と睨めツくらをしてる紳士もあつた出品點數は總てで二萬二千五百數十點もあつたのに正午には早や八九分通り賣れてしまひ午後一時頃素張らしい勢ひで一時に降り出した驟雨にも恐れず盛んに入場して來るので豊永博士は全校舍を開放して避雨客のために奔走してゐた

公告

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

◉抱川郡新北面深谷里銘字八九號
一水田參斗落
最低競賣價額金參拾六圓也
一同所同字四八號
一田半日耕
最低競賣價額金拾貳圓也
一同所同字四八號
一畓四息耕
最低競賣價額金六圓也
一同所壹字四壹號
一畓參息耕
最低競賣價額金九圓也
一同所貳字壹〇四號
一畓貳斗落
最低競賣價額金貳拾四圓也
一同所參字六〇號
一畓參斗落
最低競賣價額金參拾六圓也
一同所五字五壹號
一畓九斗落
最低競賣價額金九拾圓也
右不動産所有者 李海朝
右競賣申立人 廣業株式會社

◉京城府染洞六拾七番地
一垈拾八坪
最低競賣價額金參拾五圓也
一右地上ニ建設
一木造草葺平家建本家壹棟
一建坪八坪壹合貳勺參才
最低競賣價額金五圓也
右不動産所有者 林鶴洙
右競賣申立人 李周煥

◉京城府漢江通拾壹番地ノ內五四壹
一番戸
一木造瓦葺平家建本家壹棟
一建坪貳拾壹坪
附屬
一木造鉎丹葺平家建物置壹棟
一建坪六合
最低競賣價額金百六拾五圓也
右不動産所有者 橋本キヨ
右競賣申立人 上石米人

◉京城府本町參丁目拾貳番地ノ參
一垈參拾九坪
最低競賣價額金四百五拾圓也
右競賣申立人 李鳳來
右不動産所有者 朴慶浩

◉高陽郡恩平面葛峴里
一雜地四百七坪六合五才
最低競賣價額金貳圓
一同所
一田參百參拾參坪六合
最低競賣價額金五圓也
一同所
一田六拾五坪參合六勺
最低競賣價額金壹圓也
一同所高陽郡恩平面葛峴里孝經谷
一山野壹千四百拾坪壹合五勺
最低競賣價額金參拾五圓也
一同所
一山野五百貳拾貳坪六合五勺
最低競賣價額金拾參圓也
一同所
一山野六千貳百八拾七坪七合
最低競賣價額金六拾參圓也
右不動産所有者 金碩周
右競賣申立人 高鼎桓（京城府龍山）

◉高陽郡龍仁面孔德里
一畑四千八拾壹坪九合九勺
最低競賣價額金貳百四拾九圓也
一同所（鐘花亭）
一畑千百參拾六坪
最低競賣價額金貳百六拾壹圓也
一同所（舊京城府龍山面青坡城堂）
一畑千五百七拾六坪五合七勺五才
最低競賣價額金參百六拾參圓也
右不動産所有者 朝鮮實業株式會社
右競賣申立人 合名會社高橋農園

◉高陽郡仁而面安岩里契敦岩洞
一戸
一木造鉎丹葺平家建牛舍及事務室壹棟
一建坪百四拾九坪六合壹勺五才
附屬
一木造鉎丹葺平家建種牛舍
一建坪拾參坪參合參勺參才
附屬
一木造鉎丹葺平家建隔離場
一建坪拾壹坪五合九勺六才
最低競賣價額金貳千九百參圓拾錢也
一同郡同面安岩洞契敦岩洞
一畑五拾四坪六合貳勺
最低競賣價額金百貳拾八圓也
一同郡同面安岩洞契敦岩洞
一畑百九坪參合壹勺五才
最低競賣價額金百九拾參圓拾錢也
一同郡同面安岩洞契敦岩洞
一宅地百拾五坪五合貳勺
最低競賣價額金貳百七拾八圓九拾錢也
一同郡同面安岩洞契敦岩洞
一畑貳千七百拾坪八合壹勺
最低競賣價額金九百五拾圓也
一同郡同面大水踰里後谷馬奥
一山地貳萬七百六拾壹坪
最低競賣價額金八百四拾六圓九拾錢也
一同郡同面大水踰里後麓
一山地五千百四拾貳坪貳合參勺
最低競賣價額金百圓也
一同郡同面大水踰里後谷鳥擧
一山野四千六百八拾坪壹合
最低競賣價額金百圓也
右不動産所有者 平山繁太郎
右競賣申立人 開政十
以上競賣期日 大正五年六月六日午前十時トス

新刊書御案內

書名	著者	定價
趣味之日本史	猪俣磐次	一、八〇
九州の現在及將來	實業の世界社	三、五〇
獨逸軍國主義	吉野作造	一、〇〇
日支關係條約總覽	石山福治	一、四〇
臺灣殖民發達史	東郷實	一、八〇
臺灣警察要論	石川忠一	一、五〇
住宅運命大觀	田中菊次郎	三、〇〇
我が一代運命鑑	岡和水海	八五
株式相場成敗論	小野隆平	一、五〇
野菜畑	今村猛雄	一、〇〇
織物製造法	八木静一郎	一、四〇
優生學	澤田順次郎	一、二〇
現代名歌選	橋田東聲	八五
のぼとけ	久世勇三	九五
毒婦暦	邦枝完二	七五
グリム御噺	中島孤島譯	一、二〇
アラビヤンナイト	杉谷代水譯	三、八〇
最新游記提要	古館市太郎	一、〇〇
哲學概論	紀平正美	二、五〇
男讀むへからず	丹いね子	七五
男女の結合	横溝親堂	七五

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二〇七三番

京日案內

普通（一回前金三十錢無割引）（匿名一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢無割引）（匿名一回毎に金五錢増）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◉外務員募集 月俸三十圓他に歩割給す 最好美職希望者履歴書携帶來談 京城觀水洞一五五 三成洋行 307

◉論語・文章軌範・菜根譚・外史・六韜三略・外色々 ▼漢籍▲ 京城本町振替二貳二參 ウツボヤ書店 158

◉貸家 官吏向家賃格安 漢陽公園南裏三坂通開靜 管理者 舊龍山印刷局の先 畑中 483

番外

□中古ミシン賣買 御用の方は御一報次第參上仕候 京城鍾路二丁目 電話三三八番 楠商店 302

朝鮮のマラリヤには ◉金鷄丸が一等 京城旭町一 淺野樂天堂 301

荒物食料 雜貨 井上商會 京城黄金町三丁目水標橋通入 電話二八番 3.6

前記へ移轉 諸品取揃へ勉強仕候

年金 恩給 融通 類立替 短期 地方照會 無保險 確實 迅速 詳報 京城武橋町二三番地 電話二三八三番 京城日報社北方一丁 國江商會 144

內科 兒科 專門 胃腸 呼吸器 病 京城本町二丁目元中島病院跡（入院隨意）山田醫院 電話二八〇番 197

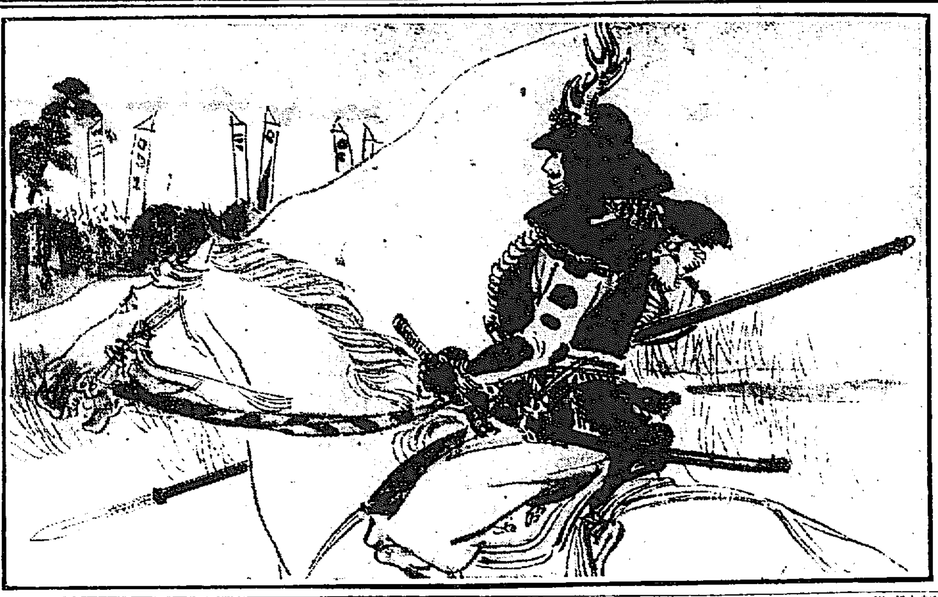
重石 高價買入 及 鑛山諸機械製作取次 京城南大門外岐阜屋旅館內 坂本出張所 電話一五一七 409

千生瓢（226）

須藤南翠作　筒井年峰畫

瑞龍寺（四）

敵の矢頭に近くのを見て、馬廻りに隨ふた福島市松正則は、むづ〳〵として平野長泰に振り向き「權平、彼の敵の振舞、憎いとは思はぬか」と切齒をして呟いた。權平は莞爾と笑つて「心憎い豪膽な振舞ぢやが、只押並んで打つだけでは、討ちかゝる事も能きまいでな」「何、高の知れた小勢、蹴殺すに手間は費らぬが、其までもない。貴公が上指の矢一筋、彼の平八郎に見舞つて見い、其で遣散ぢや」「其もなるまいかい。此大軍に押並んで進む程の兵勢ぢや、大將を撃たれたとて、死ぬまでは一歩も退くまい」權平が敵を重く見る口振を聞いて市松は嚇と怒つた。「三河勢とて同じ人間ぢや。刄の立ぬ身體は持たぬわ。いで正則が一槍入れてくれうぞ」抱ねた槍を取り直して、既に驅け出さうとする時、川の幅は急に狹まつて、岸と岸とは一町ばかりに接近した。彼方では急に鐵砲組を前に繰り出して、其間の近くと見るや、五十挺ばかりの銃口を揃へて、づどんとばかりに放ちかけた。其彈丸は大將軍の前列に放ち込んだので、流石の堅陣も亂れ立つて、はや折り敷く者さへあつた。正則は益々怒つて「無禮者め、目に物見せうぞ」と三段ばかり驅け出した。「控い、市松！」秀吉は大聲を發して制し止めた。「下知を待たずに、矢一筋、丸一發いつかな放す事は相成らぬぞ」「御諚おざりまするが、敵に戰ひを挑まれながら、空しく手を退く法はおざりませぬ。一蹴り蹴つて驅け散したうおざりまする」と正則は身を顫はして詰め寄つた。「其方共の知つた事ではない。陣列を紊るまいぞ」秀吉は一言に嗜めて、更に應戰を許さなかつたので、敵も三四發ばかり砲擊を加へたまゝ、鐵砲を收めて凛然として押し進んだ。本多が家人永井與四郎といふ者、



沛艾の馬を乘り損じて、驟に暴れ狂ひ主を振り落して、飛びあがり〳〵敵に向つて逸し去る。永井は素敏く身を起して、馬を追うて走り行く。此體を見た平八郎忠勝は、きつと心に點頭いて、一騎當て馬を驅り、永井をついと馳せ拔け、瑞龍寺川の流れを除に、敵の中へ馬を追ひ込んだ素より大將軍の中堅である。騎士の面々、この暴れ馬を取り押へんと立ち騷ぐ處に、忠勝豪々地に驅け來り追ひ廻し追ひ詰めて、終に其馬を取り鎭め、中流にして永井を乘らしめ悠然として我が方に歸り去つた。この傍若無人の振舞、而も敵の中軍を踏み暴らして、悠々として馳せ歸る、傲慢不遜の振舞を見て、加藤虎之助清正、福島市松正則等の面々切齒をなして憤り「憎き本多が唯今の振舞ひ、驅け寄せて蹴散して通り申しませう」と秀吉に迫るのであつた。何に感じたのか、秀吉は兩眼よりはら〳〵と涙を流して「あつぱれ本多が武者振や、秀吉少い時分より、侍にも、大將にも、隨分多く出會ふたれど、孰一つとして心を懸けた敵はなかつたが、今日始めてあつぱれの侍を見たるぞよ。關東の英雄豪傑に對して、濫りに矢を放つ者あらば、軍法を正さねばならぬわ、嗚呼賴もしい剛勇ぢやよ」と深くも歎稱の語を漏した。市松正則は何も憤りに堪へかねて「忠勝いかほどの剛勇であらうとも、正則驅け向つて、首提げて歸らんに何の猶豫おざりませう。敵に陣を踏み暴らされて、卑怯にも手を束ぬる事、御軍勢の勇氣を挫きまする。御免を被つて正則只一騎、敵の列を蹴散らして參りませう」と腕を扼して願ひ出た。「いや〳〵市松には、本多が底意得知るまい。千にも足らぬ小勢を以て四萬に近い大軍に驅け向ひ、馬を馳べて相打つ意は、いかにもして戰ひを交へ、千騎が一騎になるまで、切死するに於ては、恐く一時が程は費さう。己死して家康が兵を引入るゝに、少しにても便を與へようとする遠忠の志し多く得難き英傑であらうぞ。是れ獨り本多ばかりでない、馳せ續くは石川長門守康通と申すが是も亦同心同死の豪雄。箇やうの家來を一人ならず、二人三人と持た家康は武運に適ふ男ぢや。今之を殺さぬのは、他日縁ある時、我が家來にせう爲ぞ、必ず一兵一卒たりとも、討つことは相成らぬわ」と秀吉は固く首を振つた。

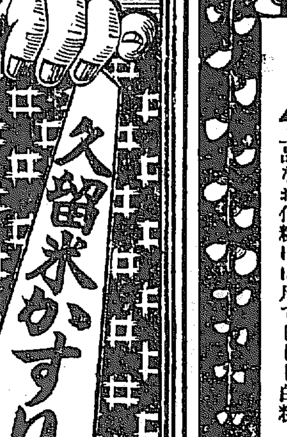
「釣道具新荷著
投網其他漁具一式
京城永樂町二丁目
釣道具製造卸商　吉備商會
監獄署製品販賣所

新刊紹介

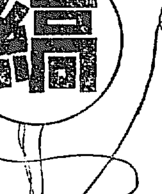
▲茶（九二）本號の名流手談道明寺賞鈴殿評説及び新題は一般に評判よし（十八錢大阪市西區今橋五の二四茶道會）
▲英語俱樂部（一の六）時文研究、科學のぞき、學課以外の英語讀者に就て、懸賞試驗成績發表及び新問題其他（十二錢東京市小石川區高田豐川町英語俱樂部社）
▲ミツワ文庫（三七）化粧品で御馴染の丸見屋商店の新聞雜誌なるが化粧術生等に於て專門家の研究せる最新の說を載せたれば家庭の參考となる事少なからざるべし（十錢東京市日本橋區橘町四丁目丸見屋商店）
▲鑛業新報（一七三）例月の外臼大正五年二月二日至同三月四日東京仙臺福岡大阪札幌各鑛務署管内試掘許可等を掲載せり（二十錢東京市麴町區富士見町五の九共社）
▲朝鮮醫學會雜誌（一五）再び朝鮮に於ける腸窒扶斯に就て、アメリカヌスに就て、臨床及び實驗例、腸管斷裂か、非せし腹部損傷の一例、川口醫一等（會員組織）
▲海外（六月號）本邦唯一海外研究雜誌を標傍せる本誌は滿洲帶古の新利權獲得地は勿論布哇南米濠洲等に至る迄國民が海外發展の羅針盤として各種の記事報道及び紹介等に努め居れり（十五錢東京市麴町區丸の一三海外社）
▲假名遣便覧　複雜にして誤り易き國語假名遣を表に示し、字音、俗音、漢音等一目瞭然且其の應用を充分ならしめん事に意を用ひたれば學生及び一般文筆に關係ある者の座右に缺くべからざるものなり（八錢東京市牛込區銀町二〇育英書院）
▲幼年ヱバナシ（六月號）ホヲルガリ、オマツリノヒ、ハナシヨウブ等お小供衆に初めての教育になる繪がたくさん（八錢東京市牛込區甲良町二三東京出版社）
▲婦人雜誌（六月號）新らしい女に讀ませ度いものには異盤を出して夫を待つ高岡峰雄、夫の借金を返濟した雲柳樹子、奥様の是非讀まねばならぬものには住所の研究、主婦と室内裝飾、夫婦の戀愛と小供等あり、醫がくれは住境に入り其他の記事亦可なり（十七錢東京日本橋區本銀町一の八婦人評論社）
◎「少年」「少女」（六月號）數ある子供雜誌中最も影響ある理想的の讀物として一般の家庭に推奬せられつゝある時事新報社發行「少年」「少女」は早くも其六月號を發行せり「少年」は科學博士の「科學對話」探偵奇譚「狂人の書」小說「人造鳥」「知々森」の外木直、永洲佐藤諸氏の小說、佐々木繁川博士等の科學談等十二大好物皆再讀の價あり「少女」にては黑阪玉露女史の口繪「小雨の窓」の外オフセツト四色版四頁寫眞版四頁石版一頁共に美麗比なく記事にては教訓小說「火水の教訓」逆賊「實母の十三歲頃」科學談「蝶とイシキ」對話「花の蝶」探偵奇譚「博士の寶玉」少女小說「宇治は茶所」悲哀小說「千鳥啼く島」「若葉の匂ひ」等清新純潔の好讀物を以て滿され眞に家庭の子女の讀物として最も信用すべき好雜誌なるを疑はず（定價殺共各部十七錢五厘）
◎內親王樣の御平生　九重の奧は我々臣民の伺ひ奉るだけに畏けれど此度東京寶樂之日本社から發行「婦人世界」六月號には內親王樣の御平生と題して皆て宮中に奉仕したる元侍女池ヶ谷せん子の謹話ありて殊に讀ませ給ふ內親王殿下の御起居、御食物、御讀物の御嗜好より日々の御起居一切を拜謁し得る珍らしき記事掲載せらる其外村井弦齋氏の研究になる野菜を生にて食ふ効能の說明あり頗る醫の日々手入法に付名家諸人の實驗談あり
◎注目すべき新研究所（クラブ白粉本店と中山化學研究所）親近化學工業勃興の機運に際しながら未だ見るべき化學研究所も稀なる我國に於て兎も角も獨立せる設備と人を有する新研究所が化學工業の一部分たる化粧品商の手に依りて設立せられたるは吾人の最も痛快とする所彼の化粧品界の覇者として將た名物として目せられつゝあるクラブ化粧品本店が昨冬新に大阪に創設したる中山化學研究所は即ち夫れにして中山氏は學者と實業家との隔意なき提携に依たずんば到底實の事業上の成功は得べからずといふ卓說の持論として從來も同業界に類例なき外人技師招聘の事を斷行し工場の一部に試驗室を設けて關係諸學者の自由研究に益さしめ製品の改善進歩に努力しつゝありしが今回更に前述の如く獨立せる中山化學研究所を大阪に起し學識經驗兼ね備へたる藥學士、工學士、理學士なる始め多數の學者を招聘して化粧品は勿論各種の化學工業に就き熱心に研究を進めつゝあるは此の實業家と學者の提携の結果は將來確かに吾人の刮目なりに値する所

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版亞鉛凸版
京城日報社寫眞製版部

ルーデサック（A十個四十錢 B十個六十錢）
二十五錢女川一個八十錢川一個
雙形以上京城黃金町三山田文殊堂藥局
増上割引外に要送料郵券代用

絣元祖井上お傳肖像

商標
絣の商標は井上お傳印に限ります
縞の商標は天狗印に限ります
久留米絣
天狗縞

登錄商標
本社發賣の絣縞は各地到る處の呉服店にあり
御不便の方は男女別御年齢御申越次第代金引替小包にて御送達致します
久留米市通町
國武合名會社

久留米縞
着心地ヨイ上品ナル實用品


久留米かすり
價格低廉
染料暴騰の影響を受けぬ織物は獨り本品あるのみ
久留米絣同業組合

▲東京で一番よく賣れるレート白粉
▲上品なお化粧には凡てレート白粉

分量が僅少で濃くも薄くも自由な化粧の出來る
レート白粉
のりとのびの良いので評判の高いレート白粉程使つて德な白粉はない
東京　平尾贊平

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相模丸　六月四日　正午出帆
高砂丸　六月十二日　正午出帆
三河丸　六月廿四日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行　大智丸　六月八日　後五時出
×木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　天智丸　五月卅一日　後二時出
○安東丸　六月五日
××木浦、釜山、巖原、郷の浦、長崎行　信濃川丸　五月廿九日　信濃川丸　六月十六日　後二時出
○×鎭南浦、大連行　信濃川丸　六月廿九日　信濃川丸　六月十一日　後二時出
×○大連直行　福州丸　六月十七日　潮州丸　六月八日　正午出帆
△×群山、釜山、横濱行　潮州丸　六月十三日　福州丸　五月三十日　後二時出
○△清津、浦潮行（元山出帆）印ハ城津西湖津ニ寄港　須磨丸　六月八日　安平丸　六月十四日　後二時出　浦潮不寄港
▲○上海、芝罘、打狗行（大連出帆）基隆丸　六月十七日　湖北丸　六月廿六日　後四時出
御注意　○印は貨客　×印は貨物船　△印は一時寄港　▲印は大連出帆
京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　內國通運會社支店

朝鮮郵船出帆

本社　京城府大門町　松原運送店
○全羅丸　六月十一日　○京畿丸　六月五日　○黃海丸　六月五日　○咸鏡丸　六月十五日　釜山發
○穩城丸　六月二日　○昌平丸　五月卅一日　○鏡城丸　五月　日　元山發
○忠淸丸　六月一日　○平壤丸　六月十二日　元山發
○永興丸　毎月廿八回　元山發
○甕德丸　五月三十日　釜山發
○江陵丸　毎日　○襄陽丸　毎日　浦項・釜山發
○三浦丸　五月廿九日　釜山發
○海州丸　○統營丸　○巨濟丸　○慶興丸　毎日　釜山發
○順天丸　三日目毎ニ　木浦發
○慶興丸　五月　日　木浦發
○公州丸　六月四日　木浦發
○公州丸　五月三十日　木浦發
○宗信丸　五月　日　仁川發
○江原丸　五月　日　仁川發
○麗水丸　六月一日　○晋州丸　六月五日　仁川發
○錦江丸　○南陽丸　毎月午前　仁川發
○平安丸　五月一日　六月一日　群山發　若松發

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大正丸　五月　日後四時出帆
○大有丸　五月廿九日後四時出帆
○神代丸　六月三日後四時出帆
○秀吉丸　五月　日後四時出帆
○君が代丸　五月　日後五時出帆
仁川港通一丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　立神丸　五月廿三日　後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　五月　日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　五月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　五月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三幸平丸　月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三幸平丸　五月　日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天與丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波國共同汽船株式會社
○芝罘、大連行　第六共同丸　五月廿七日入港　五月卅一日出港
朝鮮鐵道主要驛にて當社定期航路の聯絡切符發賣
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）第一阪鶴丸　月　日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行（元山出帆）第三共同丸　月　日前八時出
本町一丁目（電話一〇八番）仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

對滿投資好望

……を露國政府經營の時代に比すれば實に隔世の觀あり現在滿洲全體に在住する……るを知るべく極めて驚ばしき現象なり然れども滿洲の地たる無限の富源を包藏し居れるを以て今若し內地……鑛所を計畫せんとするあり其他探險宜しきを得ば到る處に鑛山を發見……て內地の資本家たるもの此際……資本を擁して徒に國內に躊躇……支交涉の結果商租權即ち永代借地權を獲得することとなり近來邦人の商租……要するもの約二百萬元に及べるに拘……既報の通り財政の窮乏は軍政府……を俟ちて其棋合せを爲さん事を北京政府に申請せりと（奉天）